

第2次広陵町健康増進計画

平成28(2016)年度～令和7(2025)年度

中間評価報告



令和3年3月

広陵町

目 次

第1章 計画策定の趣旨など	1
1 計画策定の趣旨	
2 計画の位置づけ	
3 計画の期間	
第2章 第2次計画策定の経緯	2
1 第2次計画策定にあたり	
2 広陵町第1次健康増進計画の概要	
3 第2次健康増進計画の目標との関連性	
第3章 第2次健康増進計画の内容 推進状況と中間評価	3
1 計画の目標	
2 基本的方向	
3 重点指標と課題解決にむけた対策／推進状況(指標の変化と評価)	5
(1)結果指標(アウトカム)	
(2)計画前期の重点事業と行動指標・プロセス指標の中間評価	
■「生活習慣病群」と「リスク群」をあわせた現状40.1%を.....	6
30.0%まで減じる目標には	
■がん検診受診率、現状45.7%を60.0%まで増加する目標には.....	7
■「積極的に社会資源を活用した健康情報の啓発、企業・団体など 関係機関と連携した健康づくり活動を増加する」。そして「校区間 格差の是正を図る」目標には	
(3)保健事業のまとめ	8
■広陵元気塾	
■若年者健康診査	
■いのちを守るまちづくりイベント	9
■特定健康診査・特定保健指導など	
■後期高齢者健康診査	10
■がん検診受診勧奨事業	
■がん予防推進員の活動	11
■禁煙対策	
4 中間評価、変化(改善・不変・悪化)の概要.....	12
第4章 中間評価報告の総括	13
1 中間評価を踏まえた今後の課題	
(1)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	
(2)症状・疾病の早期発見と早期措置による予防	
(3)健康に関する生活習慣の変容	
(4)ソーシャルキャピタル	

2 中間評価を踏まえた今後の取り組み	14
(1) たばこ対策	
(2) 各種健（検）診	
(3) ロコモティブシンドローム対策	
(4) 生活習慣（運動・食事）	
(5) 地域におけるソーシャルキャピタルの醸成	15
第5章 中間評価報告のための実態調査	16
1 中間報告の基礎データとした「アンケート調査」について	
(1) 対象者数と回収者数	
(2) 回収状況およびその特徴	
2 結果	17
(1) 健康増進計画で 目指すもの：健幸の大前提、「健康寿命」	
(2) 奈良県の健康寿命は全国でも上位、10年間の65歳平均自立期間の伸びは約1年	
(3) 広陵町の65歳平均自立期間は、男女とも奈良県水準未達成	18
(4) 生活習慣病をBMI値だけでなく「リスク分類」としてみれば	19
男性の問題	
(5) 「生活習慣病リスク」分類	
(6) 中間値からの「中間評価」	21
1) 計画策定時(平成27年度)の二つの目標	
2) 結果指標(アウトカム)の中間評価	
「生活習慣病群」「リスク群」を30%まで減少させる	
「がん検診」の受診率を60%まで増加させる	22
がん検診、男性の課題	
男性のがん検診「未受診」の理由	23
どの年代に焦点をあてるか	
3) 行動指標・プロセス指標、20項目の「評価」	24
「著しい改善」(目標値の水準及び上まわった指標)	
「改善傾向」(計画時よりは改善するが、目標値の水準にはまだ差がある指標)	
「維持・改善みられず」	25
「悪化」	
4) 中間値の判定からの「評価」	26
計画策定時(平成27年度)の重点的行動指標・プロセス指標の「改善(含む著しい改善)」は、約5割	
5) 課題毎の検討	
■ 指標の「維持・改善みられず」及び「悪化」を手がかりに課題を整理する	
「健康的な食生活習慣」	
「喫煙・たばこ問題」	27
「たばこをやめる治療をする医療機関を知っている者」、	28
「喫煙者のなかでやめたい者」について	
受動喫煙—男性に多い受動喫煙—	29

健康知識、『COPD(慢性閉塞性肺疾患)』	30
『ロコモティブシンドローム』の認知度	
COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度	31
ロコモティブシンドロームの認知度	
「健康づくり・運動習慣とその持続性」	
「ソーシャルキャピタルに関わる課題(人と人との	32
つながりと相互支援の基盤)」	
著しい改善の「健診・検診受診率」	33
学童・生徒の運動・体力づくり	34
学童、小学校5年生の運動が好きな割合は、男女とも横ばい	
生徒、中学3年生の運動が好きな割合は男女間で異なる	
健康の自己評価	35
生活の満足度と経済的状況	
ストレス実態	
最後に	36

<参考資料>

1. アンケート調査用紙
2. 集計表(広陵町健康増進アンケート：計画策定時平成27年(2015年)と
中間評価時令和元年(2019年)比較)

第1章 計画策定の趣旨など

1 計画策定の趣旨

国において、平成12年度より展開されてきた国民の健康づくり対策「21世紀における国民の健康づくり運動（健康日本21）」は、「すべての国民が健やかでこころ豊かに生活できる活力ある社会」の実現を目指して、一人ひとりが自由な意志決定に基づいて健康を増進する国民健康づくり運動として、推進されました。壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を目的として、健康を増進し発症を予防する「1次予防」を重視した取り組みが推進され、平成24年度末で終了しました。

平成25年度から令和4年度までの「21世紀における国民の健康づくり運動（健康日本21（第2次））」では、生活習慣病の予防や必要な機能の維持・向上による「健康寿命の延伸」、あらゆる世代の健やかな暮らしを支える良好な社会環境の構築による「健康格差の縮小」など、新たな健康づくり運動が示されました。また、「社会環境の質の向上」の視点を導入し、健康づくりを目的とした活動への参加を促進するとともに、社会資源となる企業・団体の連携方策を検討することとしています。

奈良県においても、県民の健康長寿に向けた施策の推進のための基本的な計画として、「なら健康長寿基本計画」を策定し、最終目標として健康指標の科学的な観察・評価に基づく、保健・医療・福祉・介護の総合的な推進により、令和4年度に県民の健康長寿を男女とも日本一の達成を目指すことを掲げています。

対策としての5つの柱は、①健康的な生活習慣の普及 ②要介護原因となる疾病の減少 ③要介護とならないための地域の対応 ④早世原因となる疾病の減少 ⑤早世・疾病の重症化を防止する医療体制の充実として、推進されています。

2 計画の位置づけ

- この計画は、平成14年8月2日公布の「健康増進法」第8条第2項の規定に基づく市町村健康増進計画であり、国が平成24年4月に策定した「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21（第2次））」の広陵町版計画です。
- この計画は、「第4次広陵町総合計画 みんなの広陵元気プラン」を上位計画に、いきいき健康・福祉のまちづくりに向けて、関連する「広陵町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」「広陵町子ども・子育て支援計画」「広陵町障がい福祉計画」「広陵町特定健康診査等実施計画」「広陵町食育推進計画」「広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「広陵町地域公共交通網形成計画」との整合性を図ります。
- この計画は、奈良県が策定した「なら健康長寿計画」との整合性を図ります。

3 計画の期間

この計画は平成28年度を初年度とし、令和7年度を目標年度とする10年計画とします。

計画の中間年度である令和2年度には中間評価を行います。なお、国、奈良県の計画では、令和4年度までの計画とされているため、変更、進捗状況、あるいは新たな計画策定などの変化が生じた場合には、必要な見直しを行います。

第2章 第2次計画策定の経緯

1 第2次計画策定にあたり

第2次の健康増進計画は、平成18年度から平成22年度までの第1次計画(「みんなでつくり 元気で優しいまちづくり 笑顔で80 広陵21」)の進捗状況と成果などを考慮して、現時点における実態把握に基づいて改めて健康増進の計画を策定します。

第2次計画策定にあたっては、計画実施年の現状把握と更なる課題を抽出するためのアンケート調査を実施します。アンケート調査結果および既存資料を活用し、令和7年までに達成する目標値設定の基礎資料として用います。今回実施するアンケート内容は、5年後および10年後にも同一調査項目でアンケート実施を前提として、中間評価および計画実施後の評価を行います。

評価は、計画策定時(平成27年度)に設定する目標値の達成度を基準とします。目標値設定にあたって考慮するのは、成果に関する指標(アウトカム指標)と成果に至る過程の指標(プロセス指標)です。特に地域住民の一人ひとりの力とコミュニティの力で推し進め、達成できる健康づくりを目指す項目および数値目標とします。

2 広陵町第1次健康増進計画の概要

第1次健康増進計画は、重点的に取り組む健康目標として肥満予防を取りあげました。肥満指数BMI 25.0以上の割合を10.0%減少させることを数値目標に掲げています。平成24年度～平成27年度に実施した第1次健康増進計画評価は、国の動向と同じく初期の目標達成に至っていません。しかし、現時点でも広陵町の医療費上位を占める糖尿病、高血圧性疾患、慢性腎臓病の予防や悪化防止のリスク指標として、肥満を指標にした対策は重要です。

3 第2次健康増進計画の目標との関連性

第1次で掲げた糖尿病、高血圧性疾患、慢性腎臓病の予防や悪化防止のリスク指標としてBMIを考慮した項目を目標項目に掲げます。BMI25.0以上に加え、高血圧症、脂質異常症(コレステロール高値、中性脂肪高値など)と糖尿病の3疾患の既往あるいは現在治療中の疾病が一つでもあるかどうかを組み合わせた指標「生活習慣病分類」*1(P5参照)の“生活習慣病群”と“リスク群”の割合を合わせた現状40.1%を30.0%に減じます。

この減少に寄与する年代を重点としながら、食生活、運動習慣などの生活行動変容に関わる目標項目と目標値を設定します。

奈良県の「なら健康長寿基本計画」では、肥満者の割合(20～60歳)の減少を目標に掲げ、その目標値を男性(現状29.0%)では26.0%へ、女性(現状14.2%)では14.0%にする数値目標を掲げています。

第3章 第2次健康増進計画の内容 推進状況と中間評価

1 計画の目標

平成28年度(2016年度)を初年度、令和7年度(2025年度)を目標年度とする第2次広陵町健康増進計画は、10年後に本町が目指す理想の健康的な町として、前計画の基本方針を引き継ぎ、町民がいつまでも「健康」で「幸せ」を感じることができる「いきいきと活力あふれる」まちづくりに取り組み、健康寿命を80歳に近づけます。

キャッチフレーズ

～みんなでつくろう 元気でやさしいまちづくり～
元気で80 健幸なまち広陵

広陵町はスマートウエルネスシティ首長研究会に加盟しています。

スマートウエルネスシティとは、ウエルネス（=健幸：個々人が身体面の健康だけでなく生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことのできること。すなわち健康長寿をさす。）をこれからの「まちづくり政策」の中核に捉え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの政策から脱却し、町民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指すものです。

広陵町では、平成26年度に**健幸**なまちを目指し、取り組みを進める自治体の首長が集まり活動する、スマートウエルネスシティ首長研究会に加盟しました。科学的根拠に基づき町民の健康状態の改善が実証された以下の健康まちづくり政策を、自治体間の連携によって推進していくとするものです。

- ・健康に対する望ましい生活を啓発する教育の充実
- ・健康への貢献も視点に入れたまちの美的景観及び歩道や自転車道、及び公園整備の推進
- ・健康への貢献も視点に入れた都市交通網及び商店街の整備
- ・夜でも歩ける治安の維持・強化
- ・健康づくりの視点からも地産地消ができる農業などの推進
- ・地域での健康づくりネットワークを支援する、先端的健康サービス産業の育成

これらにより、世界で未だ確立されていない「少子高齢・人口減社会」の克服を可能とするまちづくり「スマートウエルネスシティ」の具体策を創造・構築することを目的としています。

2 基本的方向

広陵町は緑豊かな景観や美しい田園、歴史・文化の景観と健康づくりに最適なまちです。

この計画により、子どもたちが元気に遊び、若者や壮年がスポーツや仕事に勤しみ、高齢になっても適度な運動や趣味を楽しみ、社会参加をしながら地域の人とともに健康でいきいきと心豊かな生活を送る活気のある健幸なまちを目指します。

理想の健幸なまちを実現するための推進の柱は、次の3つです。

1. 健康長寿の延伸
2. 町民主体の健康づくり
3. 社会全体で健康を支える環境づくり

これら3つの柱は次の目標を掲げて推進します。

- 目標
- 1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
 - 2) 症状・疾患の早期発見と早期措置による予防
 - 3) 健康に関する生活習慣の変容
 - 4) 地域コミュニティの協力による住民間連携強化

目標	重点的課題
1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	① がん ② 糖尿病 ③ 高血圧症をはじめとする循環器疾患 ④ 慢性腎臓病 ⑤ COPD（慢性閉塞性肺疾患）
2) 症状・疾患の早期発見と早期措置による予防	① がん検診 ② 健康診査（若年者健診、特定健診、人間ドック、歯科健診、歯周疾患検診など） ③ 健（検）診受診後の保健指導の徹底 ④ 健（検）診の結果、要精密検査者の医療機関受診の徹底
3) 健康に関する生活習慣の変容	① 栄養・食生活 ② 身体活動・運動 ③ 喫煙・受動喫煙 ④ メンタルヘルス ⑤ 歯・口腔
4) 地域コミュニティの協力による住民間連携強化	① 健康づくりリーダー育成 ② 畿央大学などと協働による地域づくり ③ 地域のつながりの強化

上記の方向性のもとに糖尿病・高血圧性疾患・慢性腎臓病の予防・悪化防止の指標となるBMIと関連疾患を考慮した「生活習慣病分類」*1(P5参照)の“生活習慣病群とリスク群”の改善を目指します。同時にがん予防のために検診受診率の向上を目指します。

事業推進にあたっては、住民自らが主体的に健康づくりを実践し、継続できる仕組みを構築し、住民の元気づくりと地域コミュニティの活性化に取り組むことで、推進します。

*1 「生活習慣病分類」（生活習慣病群、リスク群、問題なし群）解説

生活習慣病分類；健康増進計画の指標として利用するために作成した「生活習慣病分類」は、身長と体重から導き出した肥満指数とも呼ばれる体格指数、BMI が肥満と判定される 25.0 以上であるものに加え、高血圧症、脂質異常症と糖尿病の 3 疾患のいずれかの既往あるいは現在治療中の疾病があるかどうかの組み合わせをもとにして、以下のような分類を作成しています。

	用語	解説
生活習慣病分類	生活習慣病群	既往、現在治療中の疾病に高血圧症、脂質異常症、糖尿病のいずれかを一つあるいは一つ以上もち、更に BMI が 25.0 以上の肥満の人です。 治療が必要な集団で、この状態に至らないようにする対策が必要です。
	リスク群	既往、現在治療中の疾病に上記の 3 疾患はありませんが、BMI が 25.0 以上の肥満の人です。 臨床データとしては異常値ではありませんが、早期に生活習慣を見直し、肥満を解消して、疾患に移行させないようにすることが必要な予防可能な集団です。
	問題なし群	既往、現在治療中の疾病に上記の 3 疾患は一つもなく、BMI が 25.0 以下の肥満でない人たちで、生活習慣病の観点からは健常者であり、この状態を維持していくことを見守り、支える必要がある集団です。

3 重点指標と課題解決にむけた対策／推進状況（指標の変化と評価）

重点指標と数値目標を示し、10 年後に達成するためにどのような対策を実践するかを次に掲げます。

（現状値は、本計画のために平成 27 年に実施したアンケート調査や既存資料（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）にもとづくものです。10 年後の達成は、平成 27 年実施の同じアンケート調査を実施して、そこで把握する数値目標を基本としています。）

(1) 結果指標(アウトカム)

- ① 「生活習慣病群」と「リスク群」をあわせた現状 40.1%を 30.0%まで減じます。
- ② がん検診受診率、現状 45.7%を 60.0%まで増加します。
- ③ 積極的に社会資源を活用した健康情報の啓発、企業・団体など関係機関と連携した健康づくり活動を増加します。
- ④ 校区間格差の是正を図ります。

(2) 計画前期の重点事業と行動指標・プロセス指標の中間評価

結果指標に対して、計画前期実施期間（平成 28 年度～令和 2 年度）に重点的に取り組んだ内容を以下に掲げます。また行動指標・プロセス指標については、令和元年度の現状値に対する変化を把握して、中間評価を行ないました。

掲げた結果指標に対して取り組んだ事業

■「生活習慣病群」と「リスク群」をあわせた現状 40.1%を 30.0%まで減じます。

■がん検診受診率、現状 45.7%を 60.0%まで増加します。

について、重点的に取り組んだ事業は以下のとおりです。

- ・各種健（検）診受診率向上
- ・受診した人への支援の実施
- ・禁煙対策
- ・各地域に出向く、広陵元気塾、肺がん検診の実施

■「生活習慣病群」と「リスク群」をあわせた現状 40.1%を 30.0%まで減じる目標には、

特定健診事業では、健診未受診への受診勧奨や、健診受診後の結果から特定保健指導の利用勧奨に力を入れました。

広陵元気塾は保健師、健康運動指導士、理学療法士、管理栄養士が地域に出向いて健康教室を実施しています。申込なしで参加できる強みがあり、参加者の口コミで参加者が年々増加しています。住民の健康づくりの習慣化を目指すとともに、地域住民同士のつながりや、地域と行政のつながりをつくることを目指しています。

「運動を週2回以上している者の増加」の項目は、平成27年度は24.4%であったのに対し、中間評価値は30.4%と著しい改善がみられています。また「健康な食生活習慣のために半年以上継続している取組がある者の増加」の項目は、平成27年度に41.7%であったのに対し中間評価では44.6%と改善傾向にあります。特定保健指導や元気塾などの活動を通じて、住民の運動や栄養、食生活に対する意識や行動が変化しつつあると考えられます。

喫煙対策については、集団健（検）診受診者で喫煙している者に対し肺年齢測定や禁煙支援を行ってきました。イベントや世界禁煙デーでは、それに加えて、がん予防推進員も共に啓発活動を行い、喫煙や受動喫煙の害などについて、幅広く周知を行いました。

またCOPD予防講演会、女性のための禁煙スタートアップ講習会を行い、喫煙の害や禁煙方法、COPD、加熱式たばこや電子たばこについて正しい知識を習得してもらい、禁煙への意識を高められるよう支援を行いました。

母子保健事業の中では、母子健康手帳交付時に禁煙支援や受動喫煙の害について説明を実施し、両親教室では喫煙している夫に一酸化炭素濃度測定と禁煙支援を行っています。

「喫煙率の低下」は平成27年度に16.4%であったのに対し、中間評価値は11.2%と著しい改善となっています。

「COPD 言葉も内容も知っている者の増加」は平成27年度に15.7%であったのに対し、中間評価値は21.3%と改善傾向にあります。

健康増進法の改正など、社会全体としても禁煙の推進をはかる動きが強化されており、その流れにより喫煙率は低下してきたと考えられます。それに加え、5年間の活動の中で、多くの住民に禁煙支援を行い、啓発活動を行った事も喫煙率を低下させる要因の1つと考えます。

COPDの認知度については、目標値との差は大きい状況ですが、講演会やイベント、健診での禁煙支援を通じて周知を行ってきたことで、少しずつ認知されていると考えます。

■がん検診受診率、現状 45.7%を 60.0%まで増加する目標には、

第2次健康増進計画策定時のアンケート結果では、主ながん検診の未受診理由として「がん検診があることを知らなかった」、「受診方法を知らなかった」、「健康なので必要ないと思う」、「費用がかかるから」などが掲げられていました。

その理由を踏まえて未受診の者を受診行動へ導くために、国立がん研究センター開発の受診勧奨資材を活用し、平成27年度から令和2年度に受診勧奨・再勧奨通知を行いました。

受診勧奨通知は、40歳以上5歳節目の男女に5大がんについて行いました。再勧奨通知は肺がん検診について行い、同時に受診しやすい体制整備として地域巡回の肺がん検診も実施しました。

30歳代の女性には、子宮頸がん検診の受診勧奨通知を送付し、若年世代からの検診受診の意識付けを行いました。また、受診しやすい体制整備のため、若年者健診と同時に子宮頸がん検診を行ないました。

平成29年度には、がん予防推進員の養成を行い、平成30年度から10名が活動しています。各保健事業などを通じて、けんこう推進課だけでは受診勧奨が行き届かない無関心層へも受診の働きかけを行っています。

「がん検診 受診方法を知らなかった者の減少」の項目が、平成27年度に36.8%であったのに対し、中間評価値では29.6%と改善傾向にあります。この結果から、5年間の取り組みを通して、町でがん検診を実施している事や、受診方法について知っている住民が少しずつ増加していると考えられます。

■「積極的に社会資源を活用した健康情報の啓発、企業・団体など関係機関と連携した健康づくり活動を増加する」。そして「校区間格差の是正を図る」目標には、

このために重点的に取り組んだ事業は以下のとおりです。

- ・イベントを通じ、若い年代や無関心層に対する情報発信。
- ・がん検診、特定健診、がん予防啓発、禁煙対策など役場本庁、商工会をはじめ、店舗での実施など活動場所の拡大。
- ・地域別健康づくり事業への参加状況など（教室、検診など）広報や事業を通じて、情報提供。
- ・がん予防推進員による地域活動。
- ・いのちを守るまちづくりイベントの開催。
- ・令和2年度は、官民連携によるCOPD疾患啓発事業として、株式会社キャンサーズキャンと事業を実施。

治療中断者や未治療者が多い傾向にあるCOPDの人への受診啓発。

ハイリスク者を含む住民へのCOPDの疾患への認知向上。

ハイリスクの人をターゲットとした行動変容を目的とする啓発。

(3) 保健事業のまとめ

上記の各事業の実施状況を以下に示します。

■ 広陵元気塾

保健師が健康運動指導士、理学療法士、管理栄養士等と各地域に出向いて、運動や栄養の健康教室を実施している。各地域に出向くことで、住民の健康づくりの習慣化だけではなく、地域のニーズや健康課題の把握、住民同士のつながりや、地域と行政のつながりづくりを目指している。

■ 実績

	参加延べ人数	実施回数
平成26年度	360人	30回
平成27年度	986人	50回
平成28年度	1,239人	50回
平成29年度	1,405人	54回
平成30年度	1,826人	54回
令和元年度	1,814人	50回

※申し込みは不要。口コミで参加者数が増えている。

更に、コミュニティバス『広陵元気号』利用者数増加の取組とコラボすることにより、相乗効果を生んだ。

※毎月広報にて周知。年に1度は年間の実績等を広報に掲載。

※栄養の回は、各地域の公民館や自治会館等で実施。

■ 若年者健康診査

若年世代から健診受診の習慣化を目指すとともに、生活習慣病の予防、適切な生活の理解と実践を目的とする。女性は同時に乳房エコー検査と子宮頸がん検診を受診できるようにしている。

■ 受診者数実績

	健診（男性）	健診（女性）	乳房エコー
平成27年度(半日×4回)	47人	183人	151人
平成28年度(半日×4回)	71人	231人	205人
平成29年度(半日×5回)	62人	310人	275人
平成30年度(半日×5回)	41人	295人	254人
令和元年度(半日×5回)	35人	272人	229人

※広報や乳幼児健診時に案内を配布し、周知を行っている。

※託児も行い、受診しやすい体制づくりに努めている。

※平成30年度からは、生活習慣病予防や生活習慣の改善を目指して、結果に応じて受診勧奨や個別相談のチラシを結果送付に合わせて同封している。

■いのちを守るまちづくりイベント

健康づくりだけではなく、子育てや、防災・防犯、まちづくり等様々な視点から、自分自身や家族のいのちを守るについて学んでもらうことを目的としている。

畿央大学と協働開催している。

■実施内容

各種計測、体力測定、体操、食育コーナー、親子歯科検診、大腸がんクイズラリー、積み木コーナー、手作りおもちゃコーナー、防犯教室、AEDコーナー、認知症予防コーナー 等

■実績

令和元年度は延べ695人が参加。

■特定健康診査・特定保健指導など

特定健康診査・特定保健指導（対象：40歳～74歳）では、さわやかホールで行う「集団健診」と医療機関で受診する「個別健診」の2つの方法で実施している。令和元年度は、さわやかホールに加えて、町内に開設された健診センターを活用して年間8回の集団健診を実施した。

また、健診未受診者への受診勧奨を積極的に進めるなど、健康に関心を持ってもらうための働きかけと受診率向上を目指した取り組みを実施している。

特定保健指導については、健診の受診結果からメタボリックシンドロームと認定された方に対して、結果通知の際に特定保健指導の案内を同封し、利用を促すため、電話による利用勧奨を行った。

■特定健康診査・特定保健指導実施状況

事業名		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特定健康診査	対象者数	5,616人	5,506人	5,391人	5,309人	5,213人
	実施者数	1,941人	2,007人	2,101人	2,086人	2,132人
	実施率	34.6%	36.5%	39.0%	39.3%	40.9%
特定保健指導	対象者数	240人	218人	253人	228人	215人
	実施者数	39人	30人	41人	45人	57人
	実施率	16.3%	17.8%	16.2%	19.7%	26.5%

※受診者は年々増加しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、集団健診を中止した。

※特定保健指導以外にも、発症予防、結果説明など、個人のニーズに合わせた相談を実施。

■後期高齢者健康診査

(町集計データ)

事業名		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
後期高齢者健康診査	対象者数	3,338人	3,551人	3,705人	3,843人	4,035人
	実施者数	855人	973人	1,024人	1,075人	1,227人
	実施率	25.6%	27.4%	27.6%	28.0%	30.4%

※令和元年度から、健診受診者全員に健康相談の案内を同封して実施している。

※令和2年度から、集団健診を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施を見送った。

■がん検診受診勧奨事業

平成27年度より、受診率の向上と広くがん検診について知ってもらうことを目的に受診勧奨事業を実施。再勧奨の時期に合わせて、地域巡回肺がん検診も実施している。

平成28年度からは、若年世代からがん検診受診の習慣化を目指すために、30歳代の女性に子宮頸がん検診の受診勧奨事業を実施している。

■実績

肺がん検診受診者の推移

平成26年度	628人
平成27年度	1,013人
平成28年度	1,038人
平成29年度	1,236人
平成30年度	1,231人
令和元年度	1,300人

子宮頸がん検診受診者数の変化

平成27年度	718人
平成28年度	951人
平成29年度	911人
平成30年度	902人
令和元年度	885人

※肺がん検診は受診勧奨の案内を送付したことががん検診の周知につながり、地域巡回肺がん検診で、各地域を巡回することで新規受診者が増加した。

※子宮頸がん検診は、若年者健診と同時実施することで受診しやすい体制づくりにつながった。

■がん予防推進員の活動

平成29年度に講演会を行い、養成講座を実施し、平成30年度から活動している。
がん検診の推進に向けて無関心層への受診の働きかけを行うとともに、がん検診だけではなく禁煙対策、生活習慣病予防等の健康づくりの推進を目的としている。

■平成30年度の活動

- 5月31日(木) 世界禁煙デー啓発キャンペーン(イズミヤ広陵店)
- 7月8日(日) いのちを守るまちづくりイベントでの大腸がんクイズラリー
- 9月23日(日) かぐや姫まつりでの大腸がんクイズラリー
- 10月18日(木) がん検診啓発活動(エコール・マミ店)
- 11月15日(木) がん検診啓発活動(イズミヤ広陵店)

その他、自主活動として2月に馬見南5丁目自治会でがん予防講演会を実施

■平成31年度の活動

- (1)地域巡回型健康教室「広陵元気塾」でがん予防ミニ講座の実施
 - ①4月(がん検診の案内):5校区で実施
 - ②9月(地域巡回肺がん検診の案内、免疫力アップの話):5校区で実施
- (2)世界禁煙デーにおける啓発(5月31日:エコールマミ)
- (3)「いのちを守るまちづくりイベント」でのがん検診啓発(7月8日)
 - ・大腸がんクイズラリーの実施
 - ・乳がん検診モデルを使った自己検診の啓発
 - ・大腸ポリープ写真の掲示
 - ・禁煙川柳の掲示、紹介
- (4)「かぐや姫まつり」でのがん検診啓発(9月22日)
- (5)商工会健診でCOPDの啓発(10月11日)
商工会健診受診者にCOPD啓発チラシを配布

■禁煙対策

■平成26年度より、集団肺がん検診、集団特定健診、若年者健診受診者、いのちを守るまちづくりイベント参加者のうち、現在喫煙している者に対し、肺機能測定と禁煙支援を実施

■COPD予防講演会(平成27年12月5日)

医師によるCOPD予防講演会と、喫煙者に肺機能測定と禁煙相談を実施

■世界禁煙デーの啓発活動

世界禁煙デーの啓発と、肺機能測定、一酸化炭素濃度測定、禁煙相談を実施

※R1年度はがん予防推進員の提案で、「禁煙川柳」の募集・掲示

H29.5.31(広陵町役場) H30.5.31(イズミヤスーパーセンター広陵店)

R1.5.31(エコールマミ)

■女性のための禁煙スタートアップ講習会(令和2年2月1日)

医師による講演会と個別相談を実施

肺機能測定・一酸化炭素濃度測定

■母子保健事業での禁煙対策

両親教室参加者で、喫煙している夫に対して一酸化炭素濃度測定を実施

母子健康手帳交付時に禁煙指導や、受動喫煙の害についての説明

4 中間評価、変化(改善・不変・悪化)の概要

中間評価は、平成28年度(2016年度)を初年度、令和7年度(2025年度)を目標年度(10年計画)の中間点、令和2年度(2020年度)に行うことを計画していました。

そのため令和元年(2019年)に無記名式調査票を計画策定時と同じ内容で実施しています。

重点指標とした「行動指標・プロセス指標の推移」表を以下に示し、到達した数値を◎「著しい改善」、到達しないが改善に向かっているものを○「改善傾向あり」、大きな変化がないが△「不変・改善みられず」、低下が×「悪化」として分類表示しました。

行動指標・プロセス指標の推移

①「生活習慣病群」割合(生活習慣病群とリスク群)、現状40.1%を30.0%まで減じる

「生活習慣病群」にかかわる項目

目標の達成を把握する指標	平成27年度 現状値	令和7年度 目標値	令和元年度 中間評価値	中間 値の 評価
1 健康な食生活習慣のために半年以上継続している取り組みがある者の増加	41.7%	50.0%	44.6%	○
2 間食をやめることができない者の減少	25.5%	20.0%	26.8%	×
3 運動を週2回以上している者の増加	24.4%	30.0%	30.4%	◎
4 健康づくりリーダー登録者数の増加 平成27年度まで実施してきた保健推進員に代わる地域活動やボランティア活動の育成、支援	0人	50人	10人	◎
5 中学2年生女子の運動が好き、やや好きという者の増加	女性 76.5%	女性 80.0%	女性 84.6%	◎
6 中学生の体力を全国並みに向上	全国平均より低い	全国平均に向上	全国平均より高い	◎
7 喫煙率の低下	16.4%	12.0%	11.2%	◎
8 たばこをやめたい者の増加	45.1%	60.0%	41.1%	×
9 たばこをやめる治療をする医療機関を知っている者の増加	59.9%	70.0%	60.9%	△
10 COPD 言葉も内容も知っている者の増加	15.7%	80.0%	21.3%	○
11 ロコモティブシンドローム 言葉も内容も知っている者の増加	13.9%	80.0%	17.7%	○
12 BMI25.0以上の者の減少、最低でも現状維持	男性27.1%	男性26.0%	男性31.8%	×
	女性11.2%	女性11.0%	女性14.7%	×
13 内科的な健康診断の受診率の向上	20歳女性60.0%	65.0%	20歳女性65.6%	◎

②がん検診受診率、現状45.7%を60%まで増加

がん検診にかかわる項目

1 がん検診 受診方法を知らなかった者の減少	36.8%	25.0%	29.6%	○
2 がん検診受診希望者の校区別の格差の減少	東校区69.5%、 北校区70.5%で低い	平均値76.6% に近づける	平均80.1% 東校区77.7%	◎

③積極的に社会資源を活用した健康情報の啓発、企業・団体などと連携した健康づくり活動の増加

1 近所のかかなりの多くの人と面識・交流がある者の増加	男性7.3%	男性10.0%	男性6.9%	△
	女性7.6%	女性10.0%	女性5.9%	×
2 隣の人が誰かも知らない者の減少	3.8%	1.0%未満	5.2%	×
3 地域での活動をしていない者の減少	6割台	5割台	6割台	△

④校区間格差の是正

1 運動を週2回以上して、1回30分以上を1年以上継続している者の増加	校区間差 最大27.4%	校区間差をなくす 全体的に高める	校区間差 最大16.6%	◎
2 週あたり2回以上スポーツ・運動をする者の増加 ※「生活の中で身体を動かす機会の少なさ」を悩みと 思っている割合には差が少ない	校区間差 最大10.8%	校区間差をなくす 全体的に高める	校区間差 最大10.5%	△
3 「地縁的な活動」、「スポーツ・趣味・娯楽活動」、 「ボランティア・NPO・住民活動」において、地域での活動 をしている者の増加	全ての項目で 全国を下回る	校区間、男女間、世代 間の差を縮める	計画時と大きな 変化なし	△
		全体的に高める	計画時と大きな 変化なし	△

第4章 中間評価報告の総括

1 中間評価を踏まえた今後の課題（重点的に取り組んだ内容については6ページ参照）

中間評価報告に関する各種データ・数値の変化については、次章にまとめました。それらデータを踏まえ、計画終了年度までの今後の課題を示します。

(1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

■生活習慣病（高血圧・脂質異常症・糖尿病）リスク

男女ともに肥満者が増加し、男性（特に20歳代 60～64歳）にリスク群、生活習慣病群が多いです。若い世代（20歳代）に朝食の欠食が多く、主食・主菜・副菜がそろわない人が全体的に低いことで、食事全体の栄養バランスも欠け、生活習慣病のリスク要因にもなりやすいため、特に若い世代への働きかけが重要です。

(2) 症状・疾病の早期発見と早期措置による予防

■健（検）診の受診率

がん検診、特定健診ともに、受診率は増加傾向にあるが、特に男性においては今後もすべての年代において、受診率向上に向けた取組が必要です。

(3) 健康に関する生活習慣の変容

■健康づくり・運動習慣とその持続性

スポーツ・運動をする人が少なく、体を動かす機会が少ないと感じている西校区、東校区、北校区に多いため、校区間の格差是正が課題です。

■健康的な食生活習慣

女性は「間食をやめることができない」が40歳代に多いため、健康的な食生活習慣を身につける対策が必要です。

■喫煙・たばこ

たばこをやめる治療をする医療機関を知っている人を増やします。

40歳代の男女ともに「たばこをやめたい」者の割合が悪化しており、やめる意思のない人への働きかけが重要です。

■「COPD」「ロコモティブシンドローム」の認知度

COPDの最大の原因である喫煙について、喫煙への取組を推進します。

ロコモティブシンドロームについては、健康長寿を目指すため、健康的な生活への基礎要件といえるため、若い世代から周知が必要です。

(4) ソーシャルキャピタル

「近所の人との面識・交流」「地域活動」「隣の人を知らない」ことに対しては、改善が見られませんでした。今後、行政各部署や関連機関と連携・協力した取り組みが必要です。

2 中間評価を踏まえた今後の取り組み

(1) たばこ対策

- ・望まない受動喫煙をなくす取り組みとして、「(仮称) 広陵町受動喫煙防止条例」を制定して、住民をはじめ関係機関と共にたばこを吸わない人・吸う人それぞれが尊重し合える社会の実現に向けて対策を進め、望まない受動喫煙をなくします。
- ・たばこ対策を全庁的に推進していけるように、職員研修などで意識向上を図ります。
- ・保健所と商工会との連携を図り、職域におけるたばこ対策に取り組んでいきます。
- ・未成年者の防煙対策として、小・中学校との連携を図り望まない受動喫煙が生じないような環境づくりに取り組みます。
- ・たばこに関する正しい知識習得のために、教育委員会と連携して小・中学生への普及啓発に取り組めます。
- ・加熱式たばこは害が少ないという誤解を生まないような周知をします。
- ・喫煙者に対するポピュレーションアプローチの強化として、国保被保険者に対するダイレクトメールを行います。
- ・COPDの治療の必要な人、治療中断の人へのアプローチを行います。
- ・若年者、職域、学校などをターゲットにしてたばこに関する情報提供を行います。

(2) 各種健（検）診

- ・新型コロナウイルス感染症対策を含め、集団健（検）診、個別健（検）診の在り方を再検討し、受けやすい体制を構築します。
- ・特定健診受診率向上を目指し、対象者に合わせて健康に関心をもってもらい働きかけと受診勧奨を実施します。
- ・特定保健指導の充実、実施率の向上の取り組みを継続して実施します。
- ・若い世代から生活習慣病に対する認識を深め、生活習慣病予防に取り組めるよう、行動変容へのアプローチを強化します。

(3) ロコモティブシンドローム対策

- ・ロコモはフレイル（虚弱）より早い時期から現れます。若いうちから身体能力の低下を防ぐ必要があることを広報などでの周知に努めます。
- ・高齢者に対しては、介護予防出前講座や通いの場などにおいて、普及啓発を行います。

(4) 生活習慣（運動・食事）

- ・運動習慣を確立してもらえよう、参加しやすい場所として保健師等が地域に出向く地域巡回型健康教室「広陵元気塾」を継続します。
- ・外出しにくい対象者へのアプローチとして、運動と栄養のテーマで「広陵元気塾」の動画配信を啓発します。
- ・妊娠届出時、乳幼児健診時では、生活リズムを整えていくことや3食食べる習慣について情報提供します。
- ・20歳代学生、独身の人へのアプローチを、検討します。

(5) 地域におけるソーシャルキャピタルの醸成

上述(1)から(4)までの取り組みは、地域活動を意識して展開することにより、個人の取り組みが地域の繋がりへと発展する事業となります。このことを意識して保健事業を展開することにより、町全体の福祉事業や住民主体のまちづくりを目指す「自治基本条例」への参画にも波及するような活動を発信します。

- ・人材（がん予防推進員を中心とした核となる人）の計画的な育成を通じた住民主体の保健活動を推進します。
- ・企業・商業などによる取り組みを促進させる環境整備を図ります。
- ・健康に特化しない「まちづくり」の組織や活動の把握、健康無関心層に対して活用できる事業として展開することを検討します。
- ・がん予防推進員活動を推進によりがん検診の普及啓発のみならず喫煙との関係が指摘されるがん予防の禁煙対策をはじめ、幅広く健康づくりを推進する活動を行なえるようにがん予防推進員と協働で活動を行います。
- ・がん予防推進員が、より地域に根ざした活動を展開できるよう支援を行います。
- ・がん予防推進員養成事業を促進します。

地域で主体的に健康づくり活動を推進していける人材を養成するとともに現在のがん予防推進員が中心となって、新たな人材を養成して支援します。

第5章 中間評価報告のための実態調査

中間評価のために令和元年(2019年)、計画策定時実施の調査票(無記名方式)と同じ内容でアンケートを実施し、8月16日を締め切り投函日として回収しました。

1 中間報告の基礎データとした「アンケート調査」について

(1) 対象者数と回収者数

第2次広陵町増進計画(以下、計画と略す)策定には、各種行政資料とともに性・年代・校区の各人口を考慮し20～64歳までの3,500人(対象人口の17.7%)の住民を対象に無記名方式による「アンケート調査」を実施(平成27年(2015年)8月回収期限)して計画目標値設定の基礎資料にしました。

中間報告にあたっては、計画策定時に実施したアンケート調査と同一の内容を同一規模(3,500人)で令和元年(2019年)8月を回収期限に実施しました。

回収者は、1,427人(回収率40.8%)。未記入と性別・年齢・校区の無記入者を除く1,354人(有効回答38.7%)を集計対象者としてしました。

計画策定時と中間評価のために実施したアンケート調査にかかわる基本データを次に示します。

表 20～64歳の3,500人を対象にしたアンケート調査の回答者数・率

	実施年月	20～64歳人口	回答者数(率)	有効回答者数(率)
計画策定時	平成27年(2015年)8月	19,775人	1,775人(50.7%)	1,690人(48.3%)
中間評価時	令和元年(2019年)8月	19,002人	1,427人(40.8%)	1,354人(38.7%)

注) 有効回答者数がアンケート集計対象者

(2) 回収状況およびその特徴

回収し、集計の対象とした1,354人の男女構成、年齢別構成を策定時の回収率とともに表に示します。

表 集計対象者数(人)・率(%)

	中間評価時		計画策定時
	回収数	回収率	回収率
合計	1,354	38.7	48.3
男性	553	32.6	41.9
女性	801	44.5	54.1
20～29歳	164	27.5	35.0
30～39歳	267	36.5	42.8
40～49歳	320	34.5	43.9
50～59歳	358	42.7	58.2
60～64歳	245	60.2	68.7
西校区	355	35.1	43.3
東校区	157	38.4	50.6
北校区	194	37.7	51.5
真美第二校区	386	42.5	50.5
真美第一校区	262	40.0	48.6

回収者の特徴は、以下の通りです。

- 対象者 20～64 歳の人口は、約 770 人減少しました。
- 回収者率は、約 1 割減の 38.7%です。
- 男女比(男/女)は、0.69 で策定時(0.72)よりも男性がやや少なくなっています。
- 年代と共に回収率が高まるのは、策定時と同様です(但し、中間報告では 40 歳代がわずかに低下しています)。
- 校区の回収率は、最低が西校区の 35.1%で、最高が真美第二校区の 42.5%でした。

以上のデータからの結論は、計画策定時と比べると回収率は低下しましたが、男女比、年齢構成および校区毎の回収率と分布には大きな差はないと言えます。策定時実施のアンケート結果値と比較することは可能です。有効回答アンケートの集計にあたって、各項目の「未記入」については、計画策定時のアンケート集計結果と比較をするために計画策定時と同様な扱いにしました。

2 結果

(1)健康増進計画で 目指すもの：健幸の大前提、「健康寿命」

健康増進計画の目標は、計画に具体的に列挙しています。これらの項目・事項の改善を通して、目標の実現を図ることは、「健康寿命の延伸」を得ることです。それが健幸都市の目標です。

奈良県では、65 歳時の健康寿命を指標として、65 歳平均自立期間を健康寿命(平均余命・65 歳－平均要介護期間)と定義して、算出・公表しています。

(2)奈良県の健康寿命は全国でも上位、10 年間の 65 歳平均自立期間の伸びは約 1 年

奈良県の 65 歳平均自立期間は、平成 29 年に男性 18.42 年、女性 20.89 年。この 10 年間の延伸年数(平成 19 年と比較)は、男性が 1.35 年、女性が 0.71 年です。

この奈良県の 65 歳平均自立期間は、近隣府県と比べても、男女ともに大阪府、京都府、和歌山県よりも長くなっています。

平成 30 年のデータによると、全国的にも 47 都道府県のなかで最も健康寿命が長いのは、長野県で男女とも 1 位(男性 19.01 年、女性 21.7 年－65 歳平均自立期間－)です。奈良県の男性は、全国 4 位、女性は 25 位です。奈良県の健康寿命は、全国の中でも高い水準値にあります。

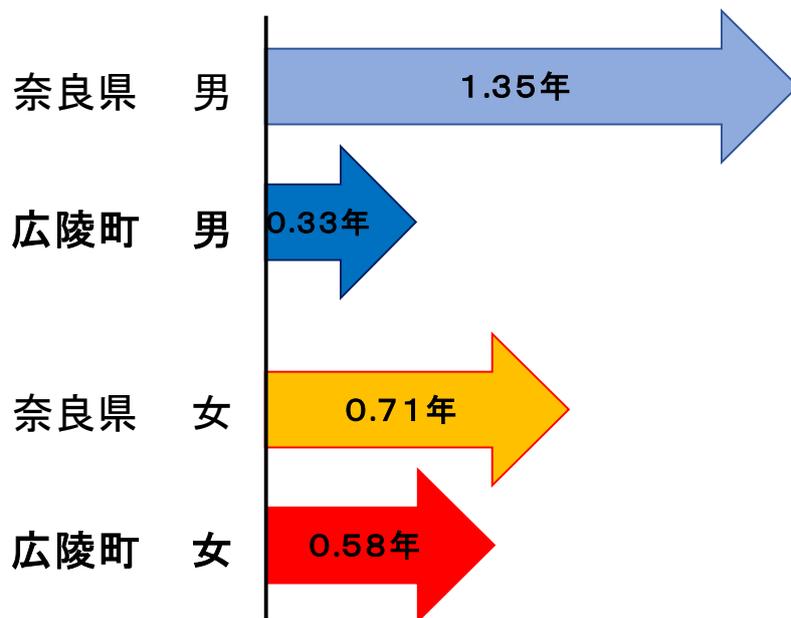
(3) 広陵町の65歳平均自立期間は、男女とも奈良県水準未達成

広陵町の最新データ(平成29年：平成28年と平成30年データから算出)は、男性の65歳平均自立期間が18.19年、女性が20.43年です。奈良県と比べると男女ともに65歳平均自立期間は短くなっています。

広陵町のこの10年間の65歳平均自立期間の延伸年数は、男性が0.31年、女性が0.46年短くなっています(平成19年と平成29年データから算出)。

次に奈良県と広陵町の10年間の65歳平均自立期間の延伸期間の差(年数)を図示しました。

図 10年間の65歳平均自立期間の延伸(年)



全国のなかでも健康寿命が上位に位置する奈良県データからは、10年間の65歳平均自立期間の伸びは、約1年です。この年数を基準とすると広陵町の延伸年数は、奈良県のレベルにはまだ届きません。

健康寿命、65歳平均自立期間の伸びは、生活習慣病の発症や増悪に関与する健康づくり・食生活・運動習慣などの取り組みにかかっており、一人ひとりの行動変容に関わっています。

(4)生活習慣病を BMI 値だけでなく「リスク分類」としてみれば男性の問題

BMI 値

健康寿命の延伸に大きな影響をもたらすものに「生活習慣病」があります。生活習慣病は、寝たきりなどの介助・介護される障害への移行、認知症の発症、早世に強く関わっています。

BMI は、身長と体重から簡単に導かれ、体格指数と呼ばれますが「肥満指数」としても使われてきました。

最近では生活習慣病の発生に強く関連する内臓脂肪を反映する「腹囲測定」が住民健診でも実施されますが、計画策定に用いたアンケート調査では身長と体重の記入に留まっています。身長と体重から算出する BMI 値分類が「正常範囲」(18.5~25.0 未満)の者は、計画策定時に男性 64.0%、女性 71.0%でした。また「肥満」(25.0 以上)は、計画策定時に男性 27.1%、女性が 11.2%でした。

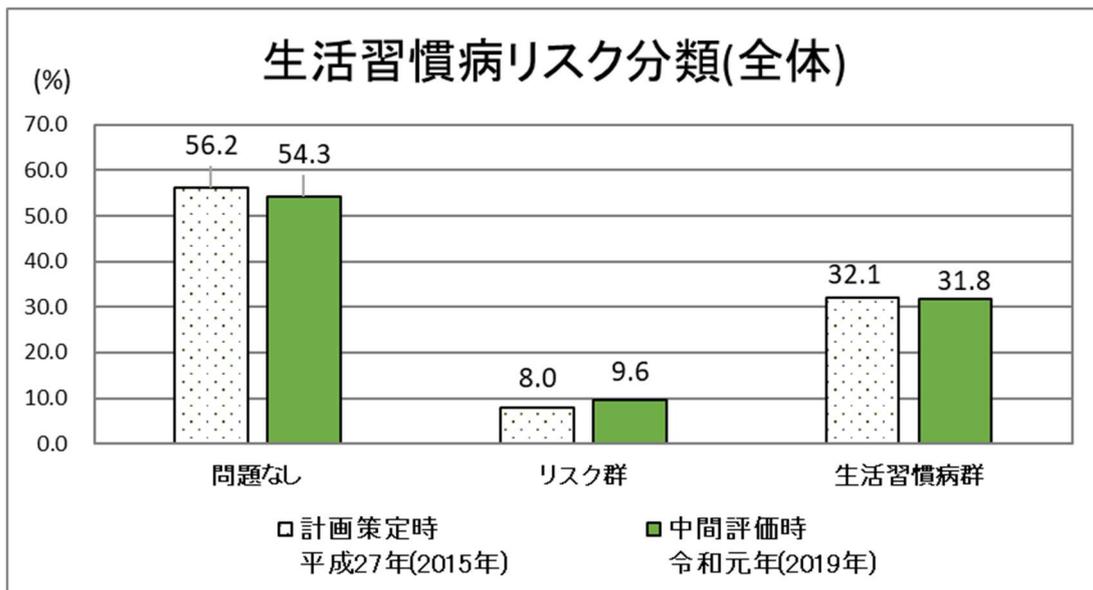
中間評価値は、「正常範囲」が男性 62.6%と女性 71.8%、「肥満」が男性 31.8%、女性 14.7%となっており、「正常範囲」者は横ばい、「肥満」者は男女とも増加でした。評価は、「悪化」と判定して、今後 5 年間の強化項目の扱いにしています。

(5)「生活習慣病リスク」分類

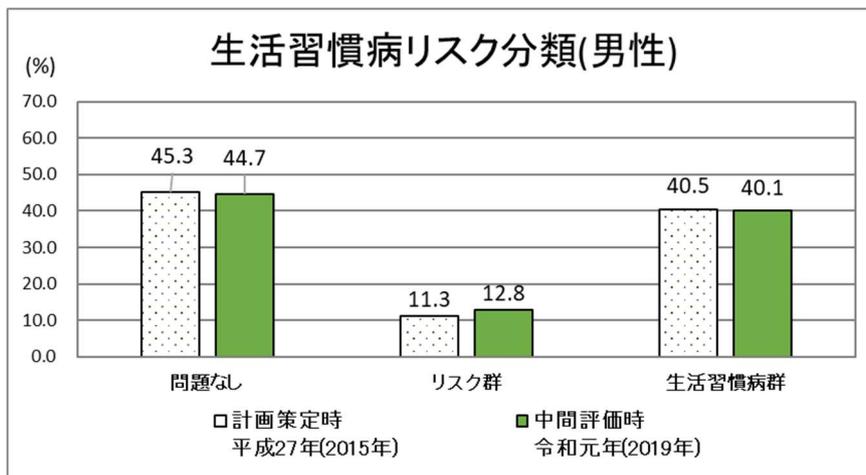
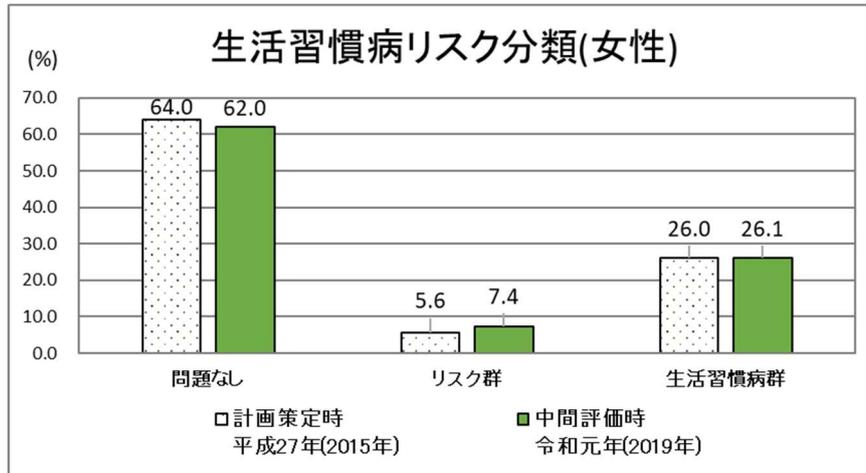
しかし、上記の BMI 値よりもよい指標があります。アンケート調査内の項目と組み合わせ、BMI 値と共に内臓脂肪評価に近い指標を作って評価しました。

BMI と高血圧・脂質異常症・糖尿病の 3 疾患の既往・現症から「生活習慣病リスク」分類を作成し、“問題なし群”、“リスク群”、“生活習慣病群”としました。

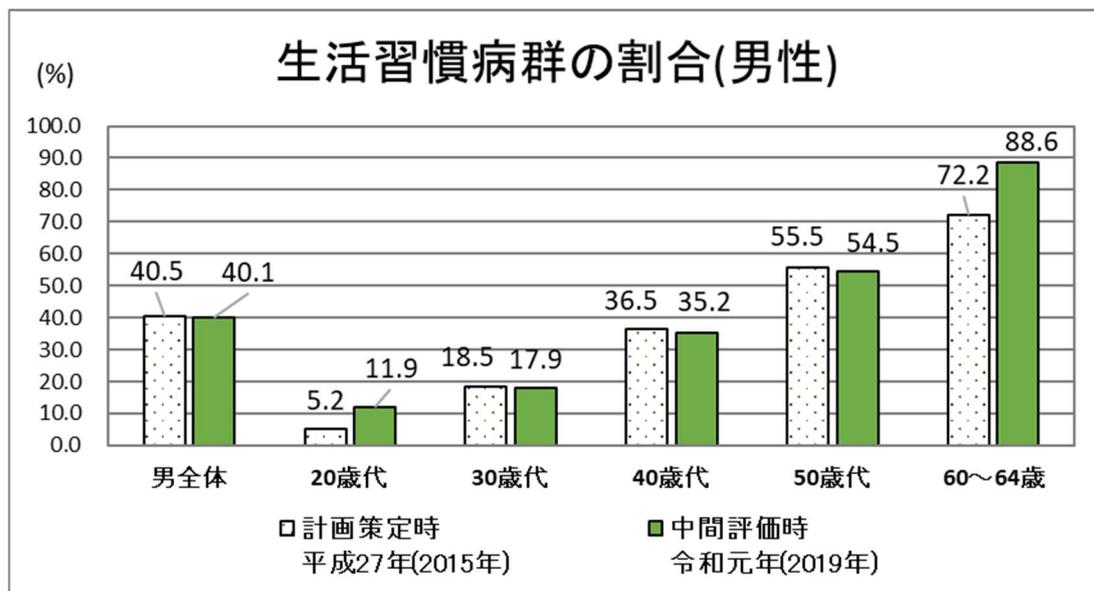
図は、全体のリスク分類を示しました。計画策定時と比べて、問題なし群がやや減り、リスク群が増加する傾向を示しますが、大きな変化はなく、判定は「不変(変化なし)」としました。



生活習慣病リスク分類を男女別にみると、計画策定時と大きな変化はありません。もともと男性には、リスク群と生活習慣病群が多く、今後5年間の取り組みが課題です。



男性については、年齢別の生活と習慣病群の割合の推移をみると、下図のように20歳代と60～64歳が特に増加(「悪化」)しています。



(6) 中間値からの「中間評価」

1) 計画策定時(平成 27 年度)の二つの目標

第 2 次計画では、10 年後の目標として「結果指標(アウトカム)」と「行動指標」の二つを掲げました。10 年後のあるべき姿の目標が「結果指標」であり、その結果に至るために定められたものが行動指標・プロセス指標です。

2) 結果指標(アウトカム)の中間評価

結果指標(アウトカム)には、

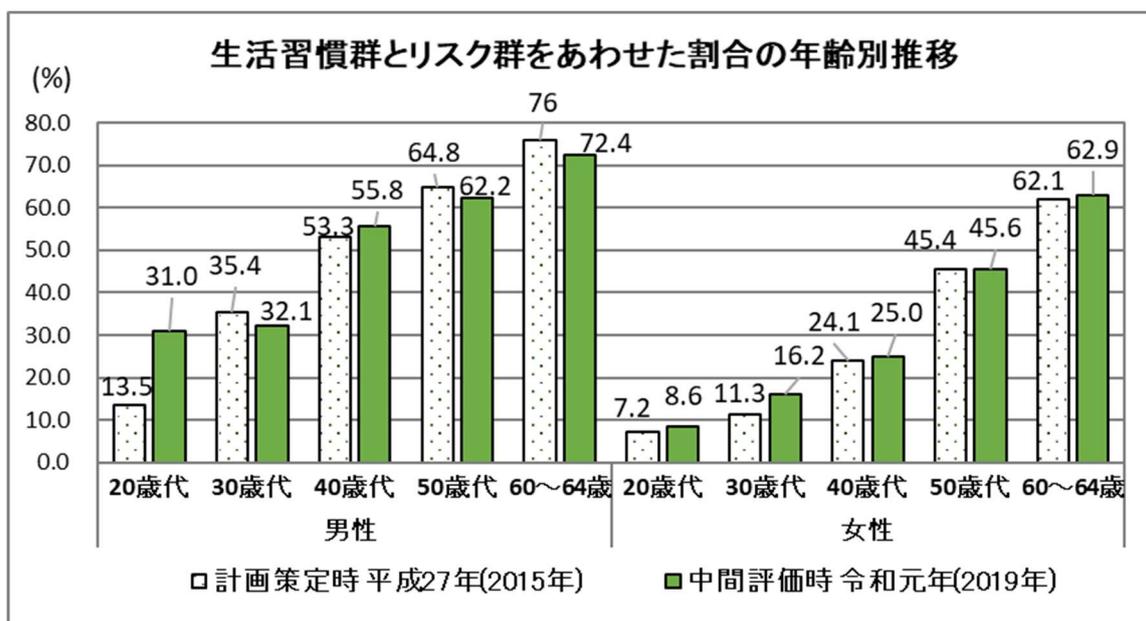
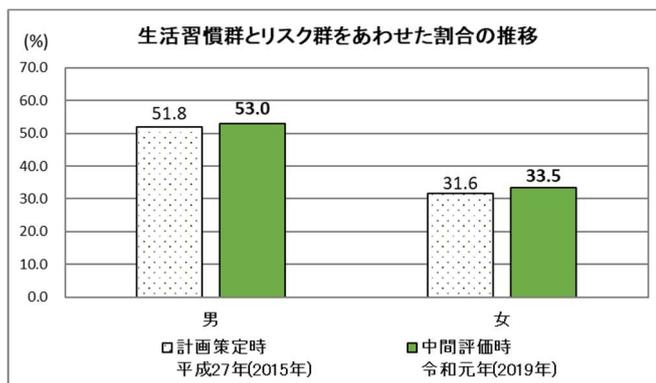
1. 「生活習慣病群」と「リスク群」をあわせて、現状値(計画策定時)40.1%を 30.0%に減じる。
2. がん検診受診率の現状 45.7%を 60.0%まで増加する。を掲げました。この結果指標の 5 年の評価を行います。

「生活習慣病群」「リスク群」を 30.0%まで減少させる

生活習慣病群分類の結果は、すでに示しました。ここでは、結果指標で掲げた数値をもとに検討します。生活習慣病群とリスク群をあわせた全体率は、計画策定時の 40.1%が 5 年経過後の中間値は 41.4%増加傾向を示し、目標値 30.0%との差は大きくなっています。下図は、生活習慣病群とリスク群をあわせた性・年齢別の割合の推移です。

男女とも計画策定時から減少せずに増加傾向にあります。女性に比べると男性は、目標値 30%を達成するには、今後 5 年間の取り組みを通して困難があると考えざるを得ません。

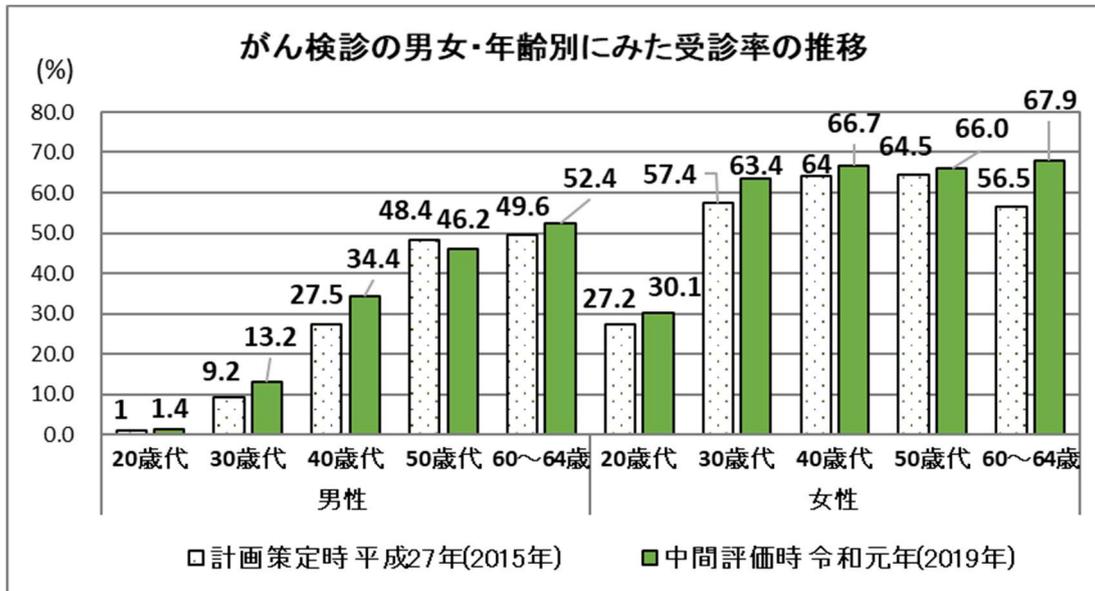
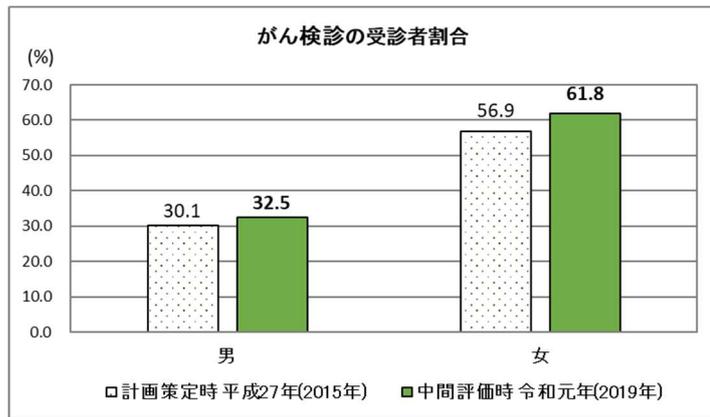
男女別にみた年齢毎の割合は、女性が 50 歳代と 60~64 歳を重点的に取り組む必要があるのに対し、男性は 40 歳以上の年齢層を対象にする必要があります。



「がん検診」の受診率を60%まで増加させる

過去2年間にがん検診を受診した者は、男女ともに増加傾向にあります。女性は中間評価時に目標を達成していますが、男性はまだ3割台に留まります。

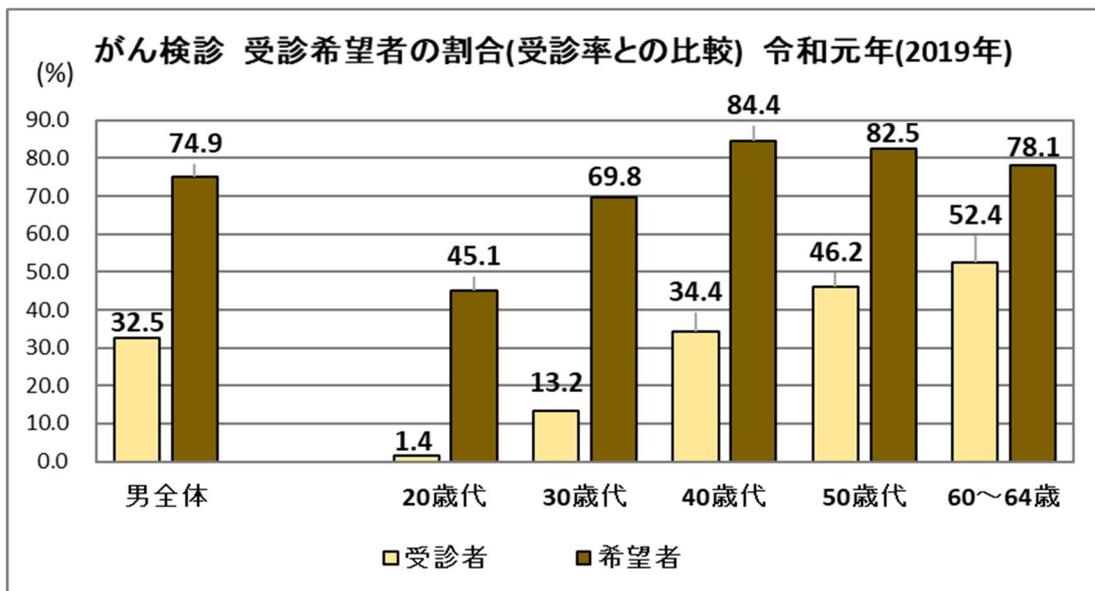
年齢を考慮した男女別の受診率は、女性は30歳代以降の受診率が6割台を達成していますが、男性はすべての年代において受診率向上の取り組みが必要です。



がん検診、男性の課題

図は、中間評価時の男性のがん検診の受診希望者の割合を示しました。

受診率が最も低い20歳代でも45%が受診希望者です。30歳代以降では6割を大きく上まわります。受診希望をかなえる条件づくりが受診率向上につながります。



男性のがん検診「未受診」の理由

がん検診受診の希望があるにもかかわらず受診しない理由の検討です。

図は、中間評価時の過去2年間にがん検診を受診していない人に対し、11項目の受診しなかった理由を示して該当するかを尋ねた結果のうち(複数回答)、上位4項目を示しました(男性のみ)。

受診しない理由の最も多いものは、「費用がかかるから」(56.4%)、次に「時間的な余裕がない」(56.1%)、「面倒だから」(52.0%)、「健康なので必要ないと思う」(46.9%)です。5位は「受診方法を知らなかった」(37.9%)でした(この5つの項目は、女子においても上位5位に入るものでした)。

どの年代に焦点をあてるか

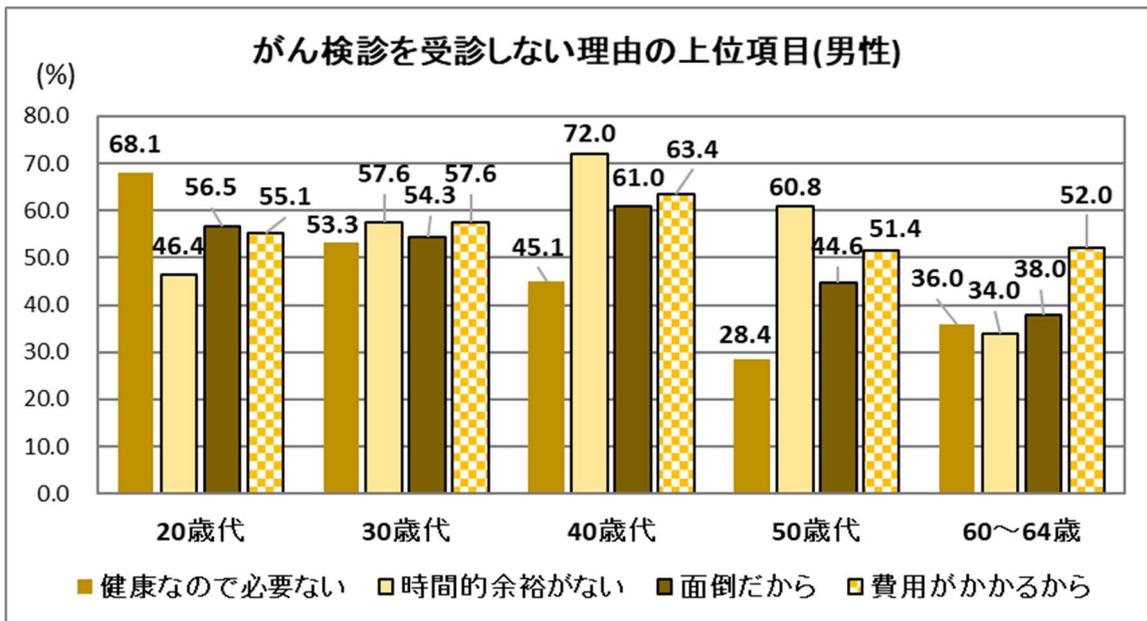
「費用がかかるから」を理由にあげた未受診の男性は、年代で大きな違いがなく、各年代で5割を超えています。相対的に40歳代と30歳代に多くなっています。

「時間的な余裕がない」を理由に挙げた男性は、20歳代から30歳代、40歳代と増加し、その後の年代では、減少します。最多の40歳代は7割を超えます。少ない年代の60～64歳は34.0%です。

「面倒だから」を理由に挙げた男性は、20歳代から40歳代までの年代は横ばいで5～6割、50歳代と60～64歳は3～4割となっています。

「健康であるから」を理由にあげた男性、20歳代に最も多く60.1%、以降、50歳代まで割合は減少します。60～64歳でやや増加に転じ36.0%になります。

がん検診の受診率向上を目指す場合、受診希望者は多いことから、性と年齢を考慮して未受診理由の解消に努める必要があります。



3) 行動指標・プロセス指標、20 項目の「評価」

計画策定時には、アウトカム指標(結果指標)として、重点となる行動指標とプロセス指標を設定しました。その指標の推移を別表に示します。この表に沿って、計画策定時(平成 27 年度)の値が令和 7 年度(2025 年度)の目標年度数値に向かって、どのように変化したかを中間値で評価します。

評価にあたっては、各項目の変化・推移を「著しい改善」、「改善傾向」、「維持・改善みられず」、「悪化」に区分して判断しました。

「著しい改善」(目標値の水準及び上まわった指標)

「運動を週 2 回以上している者」は、計画策定時に 24.4%でした。目標値の 30.0%を上まわり、中間報告では 30.4%に達成しています。

「喫煙率の低下」は、計画策定時 16.4%に対し目標値 12.0%を上まわる 11.2%を達成しています。

「20 歳代女性の内科的な健康診断の受診率」は、計画策定時に 60.0%でした。目標値の 65.0%を上まわる 65.6%を達成しました。

「(校区間格差)がん検診・受診希望者の校区間格差の減少」は、目標値 76.6%(校区平均値)を掲げました。中間報告は平均値 80.1%となりました。計画策定時にがん検診の希望者が少なかった東校区 69.5%は 77.7%に上昇しました。

「(校区間格差)運動を週 2 回以上、かつ 1 回 30 分以上を 1 年継続する者の割合」は、計画策定時に最も差のある校区間格差は 27.4%でした。中間値は 16.6%まで差が小さくなりました。

実施者数は、1,354 人のうち週あたり 2 回以上が 411 人、30.4%です。週 2 回以上で 1 回 30 分以上を 1 年以上継続する者は 411 人の 302 人、73.5%です。

「健康づくりリーダの登録数の増加」は、計画策定時 0 人、目標値 50 人に対して中間値は 10 人です。この 10 人は目標値の 50 人に対しては少ない数値ですが、質的には著しい改善に相当します。

「中学生の体力を全国並みに向上する」は、中学 2 年生の男女毎の「体力合計点」を指標にしています。計画策定時には、男性 40.6 ポイント(全国 41.7)、女性 48.29 ポイント(全国 48.66)でしたが、中間値では男性 43.37 ポイント(全国 41.69)、女性 52.34 ポイント(全国 50.22)まで高まりました。全国のみならず、奈良県平均ポイントと比べても高くなりました。

「改善傾向」(計画策定時よりは改善するが、目標値の水準にはまだ差がある指標)

「健康な食生活習慣のために半年以上継続している取り組みがある」は、計画策定時に 41.7%、目標値を 50.0%としましたが、中間値は 44.6%で増加しました。後 5 年間で目標値達成は実現可能数値です。

「がん検診受診率の増加」は、計画策定時 45.7%でした。目標値を 60.0%に設定しましたが中間値は 49.9%です。目標値までは届きませんが、増加しています。

「COPDの言葉も内容も知っている割合」は、計画策定時 15.7%、目標値 80.0%に対して、中間値は 21.3%でした。計画策定時よりは周知度は高まりましたが、目標値の値までは大きな差があります。

「ロコモの言葉も内容も知っている者の割合」は、計画策定時 13.9%、目標値 80.0%に対し、中間値は 17.7%です。周知度はやや増加しましたが、目標値までの差は大きいものです。

「中学 2 年生女子の運動が好き、やや好きという者の増加」は、計画策定時には女性 76.5%が 84.6%に増加しました。しかし、重点指標には設定しませんでした。男性は、計画策定時 90.7%に対し、中間値で 84.9%まで減少して、目標値の 92.0%を下まわっています。男女を平均すると増加のため、「改善傾向がある」として、今後 5 年間の取り組みに緩みのないことが求

められます。

「維持・改善みられず」

「たばこをやめる治療をする医療機関を知っている者の割合」は、計画策定時 59.9%、目標値 70.0%に対して、中間値は 60.9%です。もう一步の数値ですが、2020 年 4 月 1 日から施行の健康増進法改正による受動喫煙対策防止策が東京オリンピック開催との関連で強力で強力に推進されていることから、今後 5 年間での目標値達成に大きな困難はないはずです。

関連項目として「受動喫煙」の推移は、計画策定時よりも受動喫煙(たばこの煙を吸わされる機会が「大いにある」と「ややある」の合計割合)は男女とも減少しています。女性よりは男性、高齢者よりは 20 歳代(男女とも)に多くなっています。受動喫煙防止法実施前のデータですので、今後大きな減少が考えられます。

「(校区間格差)週あたり 2 回以上のスポーツ・運動をする者の割合」は、計画策定時の校区間格差の最大は 10.8%であり、目標は校区間の差をなくし、全体の割合を高めることでした。中間値は、校区間格差の最大は 10.5%で変化ありません。実施者数は、1,354 人のうち 411 人、30.4%です。

“積極的に社会資源を活用した健康情報の啓発、企業・団体などと連携した健康づくり活動”に関連して設定した次の 3 項目も「改善していない」と評価しました。この項目は、地域の中で互いを信頼し助け合えるような人間関係性を把握するもので「ソーシャルキャピタル」と呼ばれています。

「近所のかかなり多くの人と面識・交流がある者の増加」は、計画策定時には男性 7.3%、女性 7.6%でした。中間値では男性 6.9%、女性 5.9%で両者ともやや低下しています。目標値は男女ともに 10.0%としています。

「地域での活動をしていない者の減少」は、計画策定時には 6 割台(男性 63.8%、女性 61.4%)、中間値では 6 割台(男性 68.4%、女性 60.2%)です。目標値は、5 割台です。

町民の地域活動(「地縁的な活動」「スポーツ・趣味・娯楽活動」「ボランティア・NPO・住民活動」)は、計画策定時よりも大きな変化はなく、男女間でも大きな差はみられませんでした。

計画策定時には、「3 つの活動のうち、「地縁的な活動」が最も多く、ついで「スポーツ・趣味・娯楽活動」。「ボランティア・NPO・住民活動」が最も少なくなっていました。この順位は、中間値においても変化はありませんでした。

「悪化」

「間食をやめることが出来ない者の割合」は、計画策定時 25.5%、目標値 20.0%に対して、中間値は 26.8%です。やめられない者の割合は変わっていません。

「たばこをやめたい者の割合」は、45.1%、目標値 60.0%に対して、中間値は 41.1%です。

「BMI25.0 以上の者の減少、最低でも現状維持」は、男女で目標値は異なりますが、男女とも BMI が増える者が増加しています。「生活習慣病リスク分類」の結果からは、男性、なかでも 20 歳代と 60~64 歳の「悪化」が顕著です。

「ソーシャルキャピタルに関わる項目として設定した「隣の人が誰かも知らない者の減少」は、計画策定時には 3.8%、中間値では 5.2%です。目標値は 1.0%未満としています。

4) 中間値の判定からの「評価」

計画策定時(平成27年度)の重点的行動指標・プロセス指標の「改善(含む著しい改善)」は、約5割

20項目(男女別を考慮すると24項目)の重点的指標のうち「著しい改善」は8項目、「改善傾向」にあるものが4項目、「維持・改善みられず」が6項目、「悪化」した指標が6項目でした。

評価にあたって、その判定はあえて厳しい判断をしました。全体的には、目標値に向かって「改善」しつつあると総括できます。

プロセス指標の改善は、「結果指標(アウトカム)」に反映するものです。結果指標で数値を示した「生活習慣病群とリスク群」の減少、がん検診受診率の増加は、男性の大幅な改善が必要なのが中間値から明らかになっています。この目標と到達が健康寿命、65歳時平均自立期間の延長、奈良県水準の確保に結びつきます。

計画遂行までに残りの5年間の活動を引き続き展開するために、「改善(含む著しい改善)」の項目は、この5年間のどのような活動が成果に結びついたのかを検討して、この状態を維持あるいは目標をさらに高めて活動強化を検討することになります。

「維持・改善みられず」と「悪化」については、計画策定時からの5年間の取り組みを点検して、添付の「計画策定以降の保健事業の展開」を踏まえつつ、業務・事業活動を点検・見直しにより、業務・事業活動の検討を早急にまとめて今後の5年間の活動に反映させることが重要です。

次には、「維持・改善みられず」と「悪化」と評価した項目をもとにして、「健康的な食生活習慣」「喫煙・たばこ問題」「健康づくり・運動習慣とその持続性」「ソーシャルキャピタルに関わる課題」に分けて更なる分析と検討を行います。

5) 課題毎の検討

■指標の「維持・改善みられず」及び「悪化」を手がかりに課題を整理する

「健康的な食生活習慣」

食生活に関連した指標、「半年以上継続する取り組みがある者」は、計画策定時よりも増加して改善傾向を示しています。表に年齢別の推移を示しましたが、とくに女性は50歳代の横ばいを除き他の各年齢での改善がみられます。

表 健康な食生活のために半年以上していることがある者の割合(%)

年齢	時期	男性	女性
20歳代	計画策定時 平成27年(2015年)	18.8	26.4
	中間評価時 令和元年(2019年)	31.0	32.3
30歳代	計画策定時 平成27年(2015年)	30.8	40.0
	中間評価時 令和元年(2019年)	31.1	41.0
40歳代	計画策定時 平成27年(2015年)	34.1	42.5
	中間評価時 令和元年(2019年)	40.6	45.3
50歳代	計画策定時 平成27年(2015年)	44.0	54.9
	中間評価時 令和元年(2019年)	41.3	52.6
60～64歳	計画策定時 平成27年(2015年)	54.1	49.1
	中間評価時 令和元年(2019年)	50.5	63.6

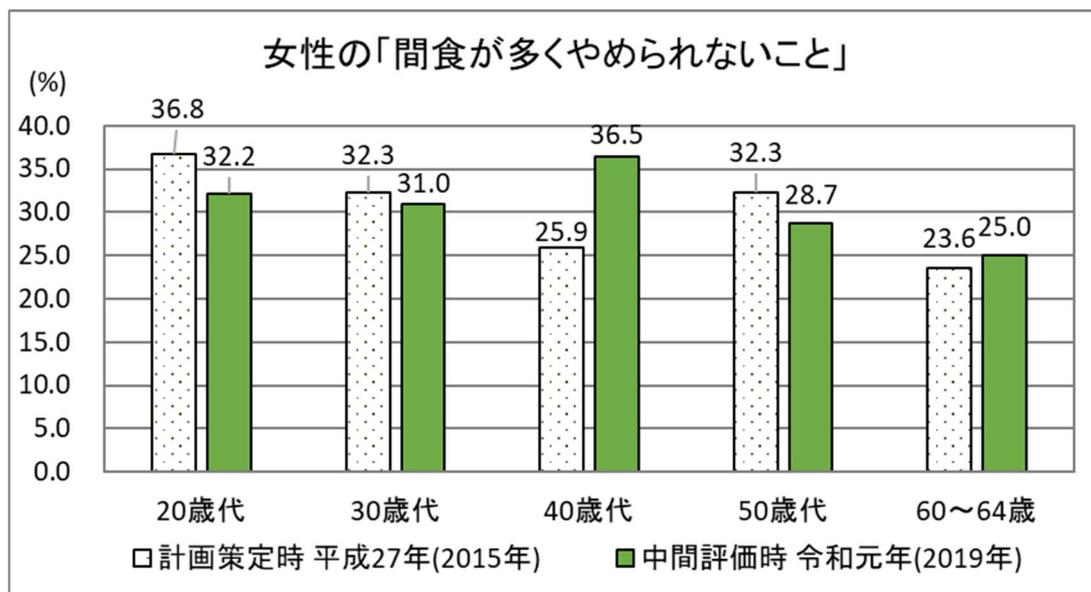
重点指標にした「間食をやめることができない者」は、計画策定時から女性の問題として指摘されていました(男性 19.3%、女性 29.9%)。

中間値でも男性 21.0%に対し、女性は 30.8%です。

男性も女性も数字の上では若干高まりますが、横ばい状態と言えます。目標値の 20.0%に対しては「悪化」と判定しました。

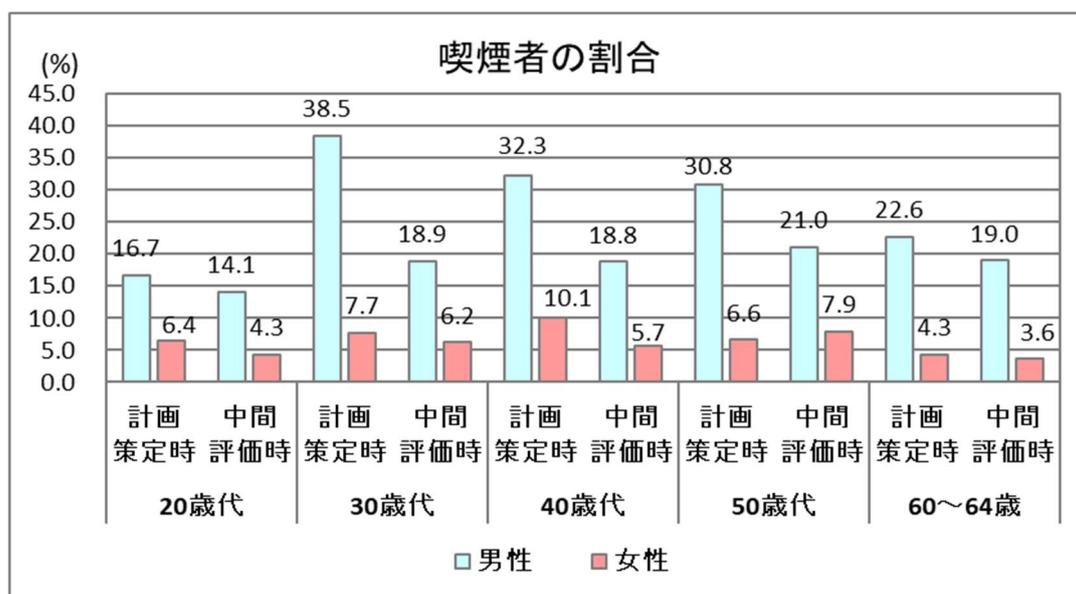
女性の問題として、この間食が多くやめられない項目の推移をみます。

20 歳代、30 歳代、50 歳代もやや減少しています。60～64 歳は横ばいです。問題は、40 歳代の 25.9%が 36.5%に高まったことです。40 歳代女性に焦点をあてた働きかけが課題となります。



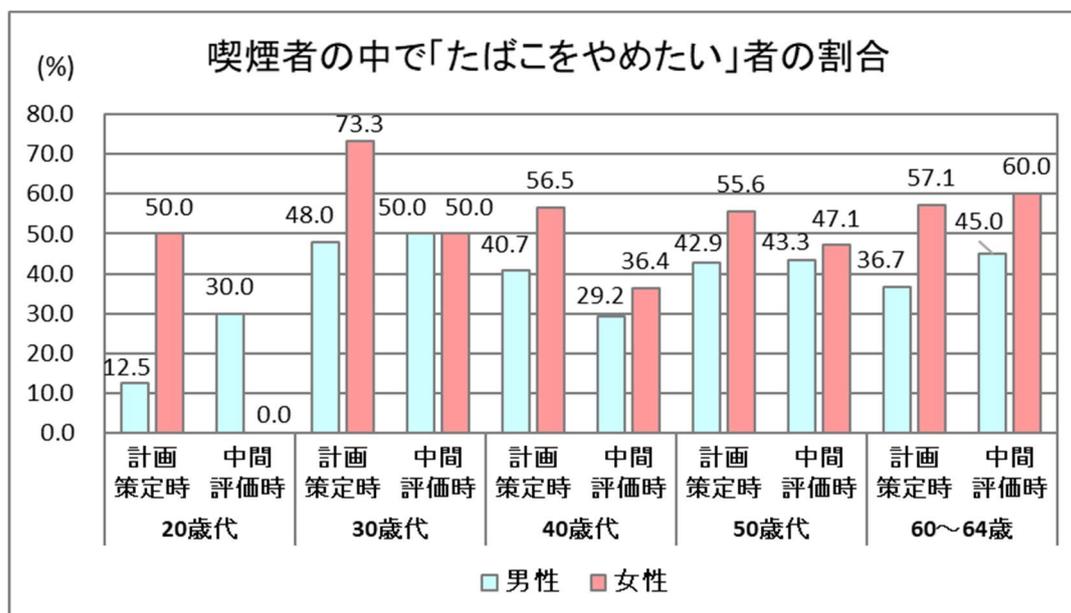
「喫煙・たばこ問題」

喫煙率は、次に図を示しますが、男女とも各年代で喫煙率が下がっています(50 歳代女性のみが横ばい)。いずれも大きく低下し、禁煙する者が各年代とも多くなったと言えます。



喫煙する者の中で「たばこをやめたい」者は、目標値 60.0%に対し、41.1%で計画策定時の 45.1%よりもわずかに減少したため、評価は「悪化」と判定しました。

しかし、やめたい者が減少した性と年代は、40歳代の男女です。この年代の喫煙者の禁煙化率は男女ともに大きかったので現在も喫煙する人はヘビースモーカーと推測できます。



「たばこをやめる治療をする医療機関を知っている者」、「喫煙者のなかでやめたい者」について

40歳代に焦点をあてた働きかけが今後の5年間の課題です。

働きかけの一つは「たばこをやめる治療をする医療機関を知っている者」を増やすことです。この項目は、喫煙者の母数として、目標値 70.0%をかかげましたが、計画策定時 59.9%はほぼ変わらず 60.9%でした。

喫煙者の中で「やめたい」者は、計画策定時と比べ男性は変わりなく 4割台(40.3%→40.4%)ですが、女性は 59.2%(計画策定時)が 42.8%(中間値)に減少しています。

女性の 30歳代、40歳代と 50歳代の減少率が大きく、喫煙者のなかでもこの年代の女性の問題、働きかけが課題です(20歳代女性は、母数が 4人でいずれも「やめたくない」回答でした)。

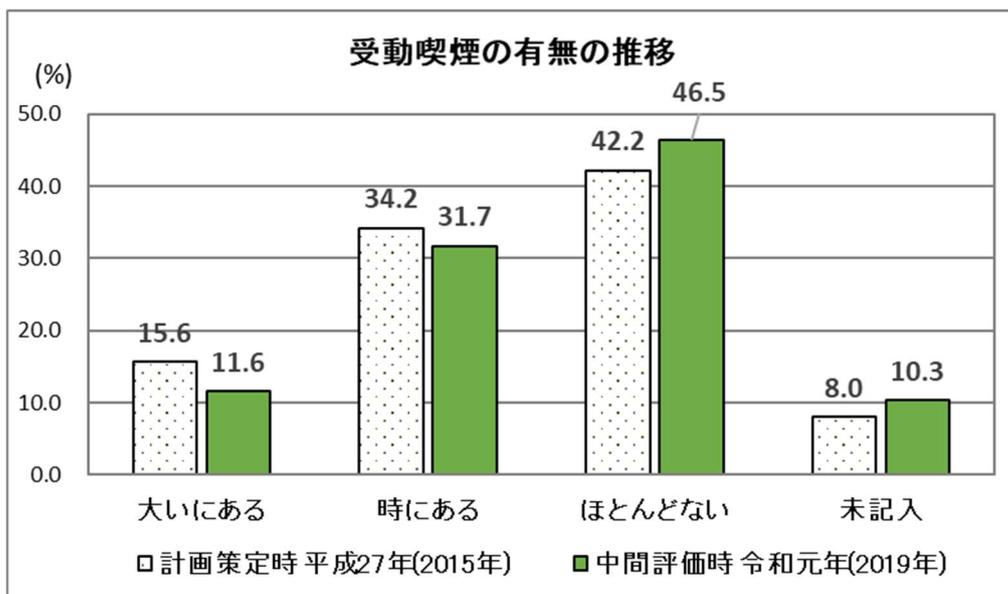
表 喫煙者で「たばこをやめたい者」の割合(%)

年齢	時期	男性	女性
20歳代	計画策定時 平成27年(2015年)	12.5	50.0
	中間評価時 令和元年(2019年)	30.0	0.0
30歳代	計画策定時 平成27年(2015年)	48.0	73.3
	中間評価時 令和元年(2019年)	50.0	50.0
40歳代	計画策定時 平成27年(2015年)	40.7	56.5
	中間評価時 令和元年(2019年)	29.2	36.4
50歳代	計画策定時 平成27年(2015年)	42.9	55.6
	中間評価時 令和元年(2019年)	43.3	47.1
60～64歳	計画策定時 平成27年(2015年)	36.7	57.1
	中間評価時 令和元年(2019年)	45.0	60.0

受動喫煙—男性に多い受動喫煙—

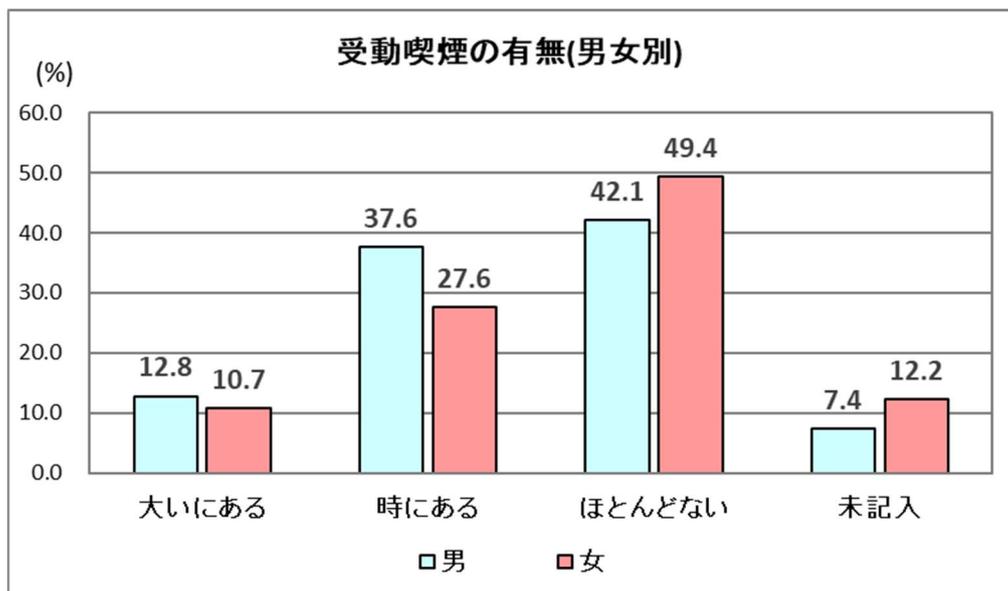
受動喫煙については、健康増進法の改正(2018年)で2020年4月から受動喫煙防止のために原則屋内喫煙が禁止され、今後は受動喫煙の被害が大きく減少する可能性があります。本中間評価は、法施行前、2019年8月時点の町民アンケートです。受動喫煙については、「たばこの煙を吸わされる機会(受動喫煙)がありますか」の質問に対し、次の3つの選択肢、「大いにある、時にある、ほとんどない」で調べました。

「大いにある」が11.6%、「時にある」が31.7%、「ほとんどない」が46.5%です。計画策定時と比べると「大いにある」と「時にある」とした受動喫煙者が減少しています。

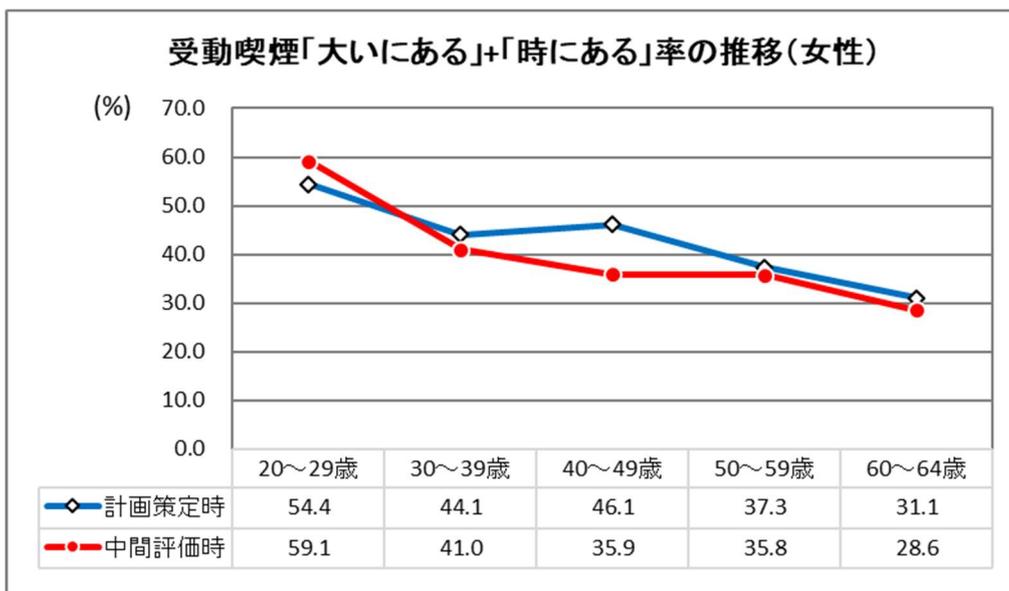
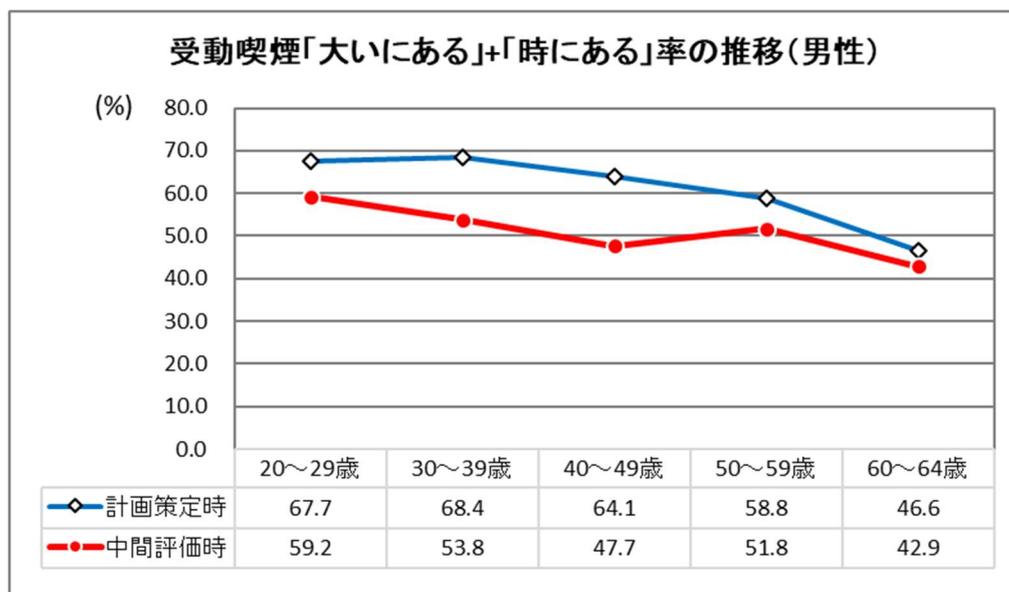


男女別(中間値)を図に示します。「大いにある」と「時にある」は、男性に多く、男性が50.4%、女性の38.3%を上まわります。

参考まで、現在喫煙している者を除いた非喫煙者を母数にした受動喫煙は、「大いにある」と「時にある」をあわせるとやはり男性に多くなっています。両者をあわせた割合は、39.7%。男性44.4%、女性36.8%でした。



受動喫煙のある者の年齢別割合(母数は喫煙者も含めた全員)を男女別に示します。計画策定時よりも減少する傾向がみられます。



健康知識、『COPD(慢性閉塞性肺疾患)』『ロコモティブシンドローム』の認知度

喫煙や食・運動などの生活習慣の行動変容につながる要素の一つに「知識」があります。健康寿命の延伸にかかわる対策にCOPD(慢性閉塞性肺疾患)とロコモティブシンドローム(「ロコモ」)が知られています。

COPDの最大の原因は、喫煙です。喫煙者の15~20%が発症するといわれ(日本呼吸器学会)、全体の死亡者のなかでCOPDは、死亡原因の9位です。男性では、7位を占めます。また、ロコモティブシンドロームは、年齢と共に運動機能が低下して自立度が低下し、介護が必要となる可能性が高い状態のことを指します。

「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」と「ロコモティブシンドローム」の各言葉(用語)とともにその内容を知っているか、その認知度は健康的な生活への基礎要件といえます。国は健康日本21(第二次)において両用語の認知度を80%(2022年)まで高めることを目標にしています。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、「言葉も内容も知っている者」が計画策定時に男性14.5%、女性が16.6%でした。中間値では男女とも認知度は高まり、男性が18.6%、女性が23.1%になりました。

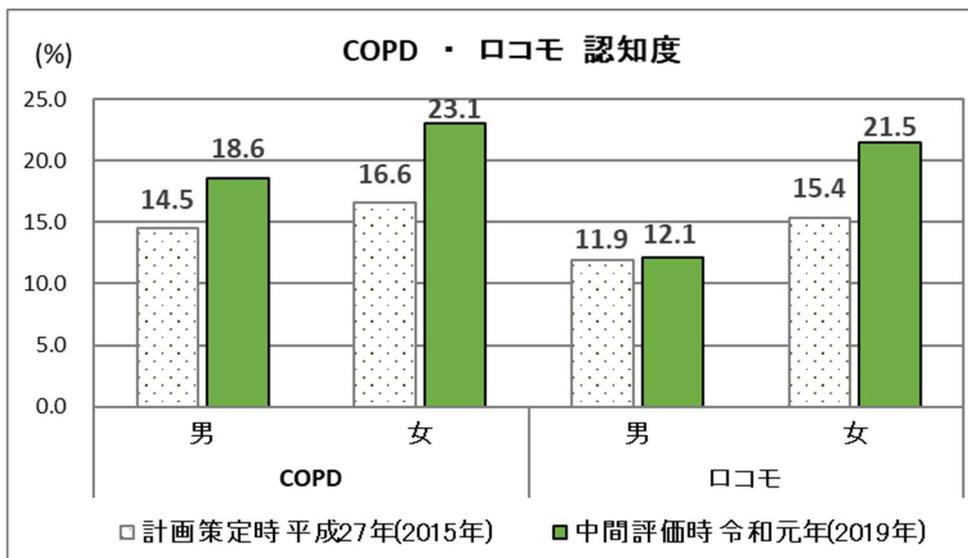
全国との比較をみます。健康日本21(第二次)計画では、COPDの認知度を計画策定時の現状値25%(2011年)を80%(2022年)まで高めることを目標にしています。2018年時点の進捗状況の認知度は28.1%です。

ロコモティブシンドロームの認知度

ロコモティブシンドロームの認知度(「言葉も内容も知っている者」)は、計画策定時に男性11.9%と女性15.4%が、中間値では男性12.1%と女性21.5%になりました。男性の周知度は大きく変化がありませんが、女性は認知度が高まりました。

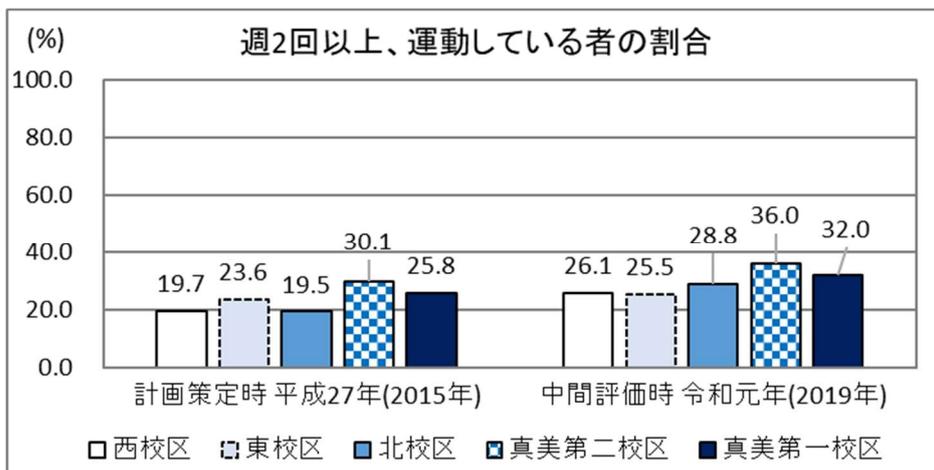
全国との比較をみます。健康日本21(第二次)計画では、80%(2022年)を目標にしていますが、2018年において48.1%になっています。

図は、両用語の「言葉も内容もよく知っている」者の割合の推移を示しました。

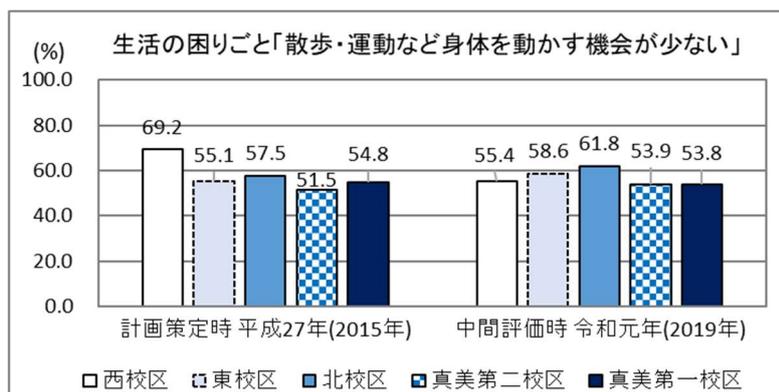


「健康づくり・運動習慣とその持続性」

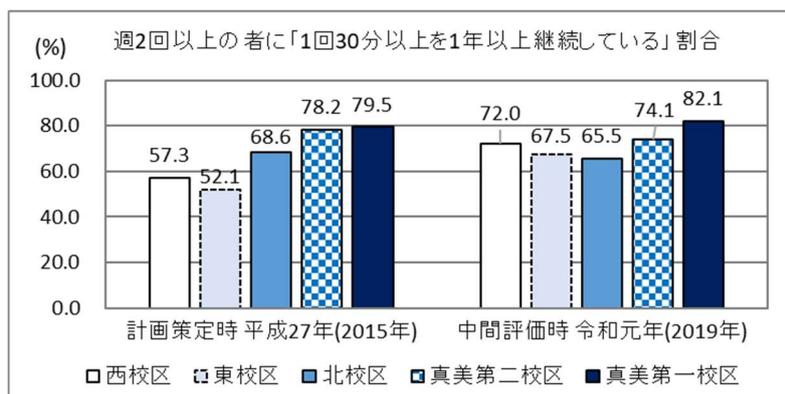
運動を週2回以上している者の割合は、目標値を上まわり「著しい改善」と評価判定しました。この週2回以上の運動実施者の校区間の格差を解消することを重点目標に掲げ「維持・改善みられず」と判断しました。図に校区間比較を示します。真美第二校区が大きく増加したため、校区間の格差が大きくなったようになりましたが、全体的には各校区とも高まっています。「維持・改善みられず」は厳しく判定しました。



また生活の中での困りごと・不安の項目として聞いた「散歩や運動など、身体を動かす機会が少ないこと」は、計画策定時 56.1%が 44.6%に大きく改善しています。校区間の数値を図示します。この数値は「減少」が改善となりますが、西校区の大きな改善がこの格差の緩和に寄与して、校区間格差が小さくなったことがみられます。但し、各校区の改善状況は横ばいと言えます。



週2回以上の運動をしている者は、「その運動が1回30分以上、1年間継続している」かどうか、その校区間格差の解消を重点の目標にしていますが、全体が高まり、最大 27.4%の格差も最大 16.6%まで縮まり「著しい改善」と判定しました。

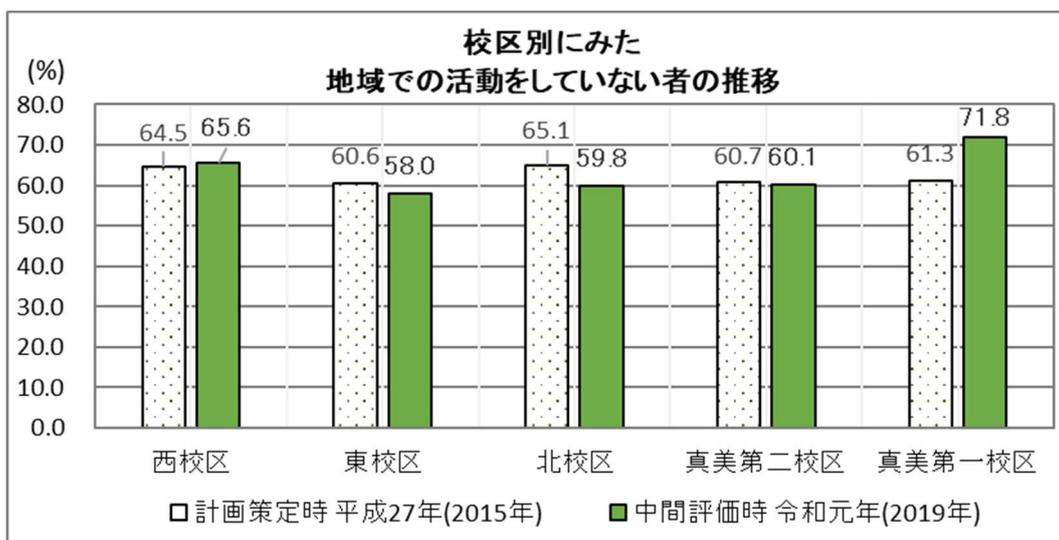


「ソーシャルキャピタルに関わる課題(人と人とのつながりと相互支援の基盤)」

地域活動への参加、近所づきあいや近所での信頼できる人の存在は、暮らしを地域の中で支えあって継続する上で基盤となります。アンケート調査では、地域の活動を3つに分類して、それぞれへの参加の有無をたずねています。この3領域の活動の全てを「いいえ」の者を「地域活動をしていない」とします。

「地域活動をしていない」割合は、男性が 68.4%(計画策定時 63.8%)、女性が 60.2%(計画策定時 61.4%)です。男性が増加傾向、女性は横ばいです。

校区別の結果を図に示します。北校区で減少し、真美第一校区で増加しています。全体的にみると横ばいです。



さらに他の項目も含めて、ソーシャルキャピタルの状況を概観すると表のようになります。

表 ソーシャルキャピタルに関わる項目(%)

項目	地区	計画策定時 平成27年(2015年)	中間評価時 令和元年(2019年)
地縁的な活動	西校区	23.0	20.3
	東校区	25.1	31.8
	北校区	20.7	25.3
	真美第二校区	30.3	22.5
	真美第一校区	21.1	17.6
スポーツ・趣味・娯楽活動	西校区	14.4	15.8
	東校区	16.3	17.2
	北校区	15.7	16.5
	真美第二校区	22.2	21.0
	真美第一校区	23.2	15.3
ボランティア・NPO・住民活動	西校区	9.8	8.7
	東校区	9.4	10.2
	北校区	7.7	8.2
	真美第二校区	6.6	7.5
	真美第一校区	7.6	6.1
近所に信頼して相談できる人がある	西校区	42.9	43.4
	東校区	47.3	52.9
	北校区	47.1	43.3
	真美第二校区	39.5	45.6
	真美第一校区	44.3	41.2

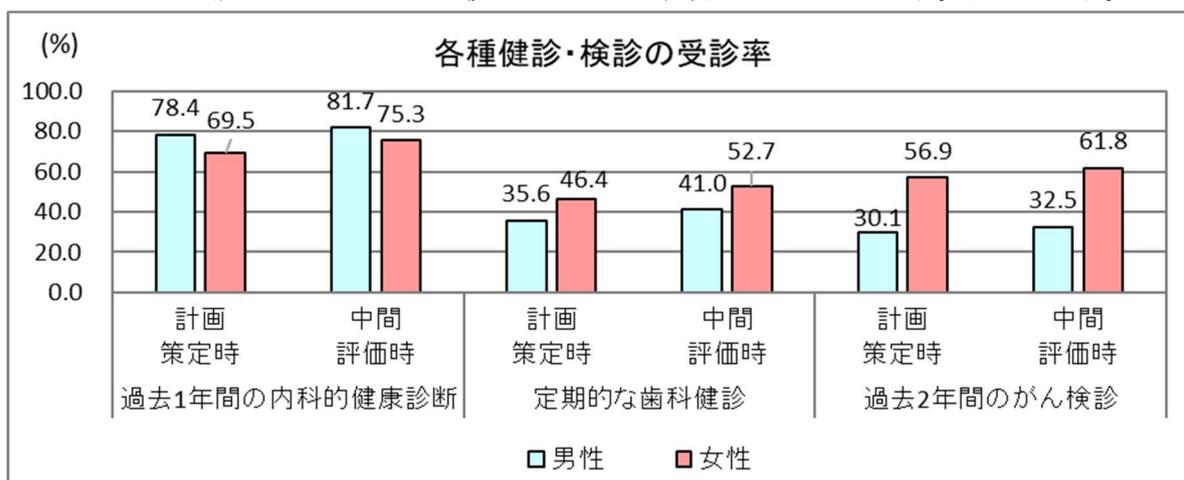
地縁的活動は、東校区と北校区で増加、真美第一校区と真美第二校区と西校区で減少します。スポーツ娯楽などは、真美第一校区で大きく減少しますが、他校区に変化はみられません。ボランティアやNPO活動への参加も変化はみられません。

そして近所に信頼して相談できる人の存在については、真美第二校区で大きく増加しますが、減少する校区が複数みられ、全体的には校区間格差の解消と全体の高まりにつながっていません。

著しい改善の「健診・検診受診率」

この5年間で著しい改善と判定したものが、「内科的な健康診断の受診率向上」と「がん検診受診希望者の校区間格差の減少」でした。

アンケートで調べた3つの健診・検診についても改善がみられています。図示します。



男女ともに受診率が高まっています。

地域保健活動が、健診・検診を受診してもらうことから始まり、それが健康教室や保健指導への展開の出発点と考えるならば、この5年間の活動の成果は「著しい改善」であり、健康増進計画への展開が希望をもってできると考えられます。

学童・生徒の運動・体力づくり

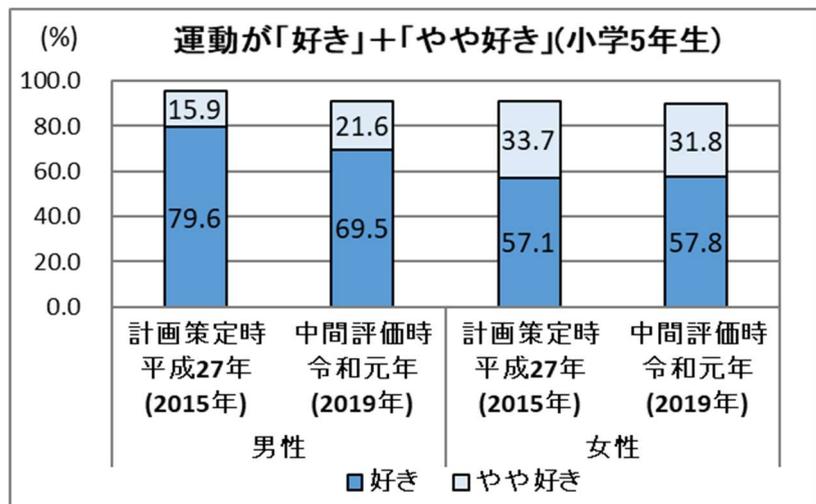
第二次計画では、生活習慣病の対策の一つに適度な運動や身体活動をあげて、そのために日頃から運動に親しみ楽しむために学童期には遊びやクラブ活動を通して身体を動かすことを好きになることを掲げています。

学童、小学校5年生の運動が好きな割合は、男女とも横ばい

運動が「好き」と「やや好き」をあわせた割合は、計画策定時に男女とも9割を達していました。「好き」な割合は、男女ともに全国及び奈良県を上まわっていました。この傾向は、中間値において、男子は維持できませんでしたが、女子は全国および奈良県をやや上まわりました。

しかし、図にみるように男女ともに「好き」と「やや好き」をあわせた割合は、計画策定時に比べ横ばいです。

「好き」と回答した割合は、男子に減少がみられます。

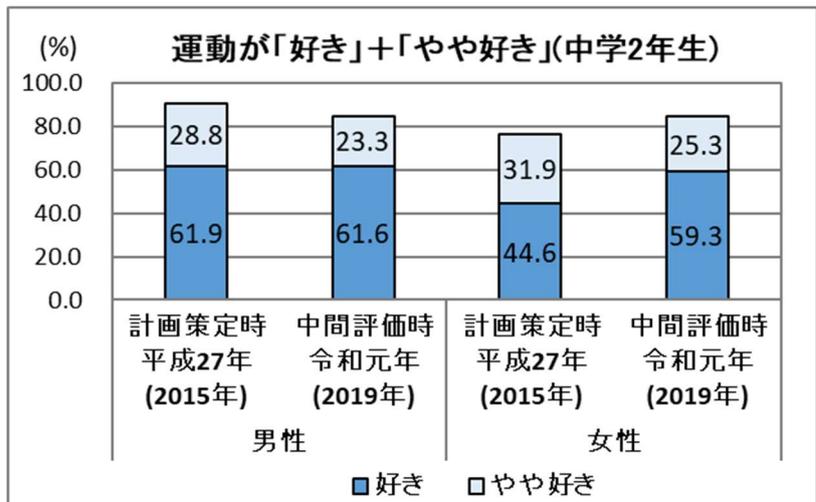


生徒、中学2年生の運動が好きな割合は男女間で異なる

運動が「好き」と「やや好き」をあわせた割合は、計画策定時に男女とも8割前後でした。

「好き」な割合は、男女ともに全国及び奈良県をやや下まわっていました。中間値においては、男子は全国よりは低い奈良県をやや上まわり、女子は全国および奈良県を上まわりました。

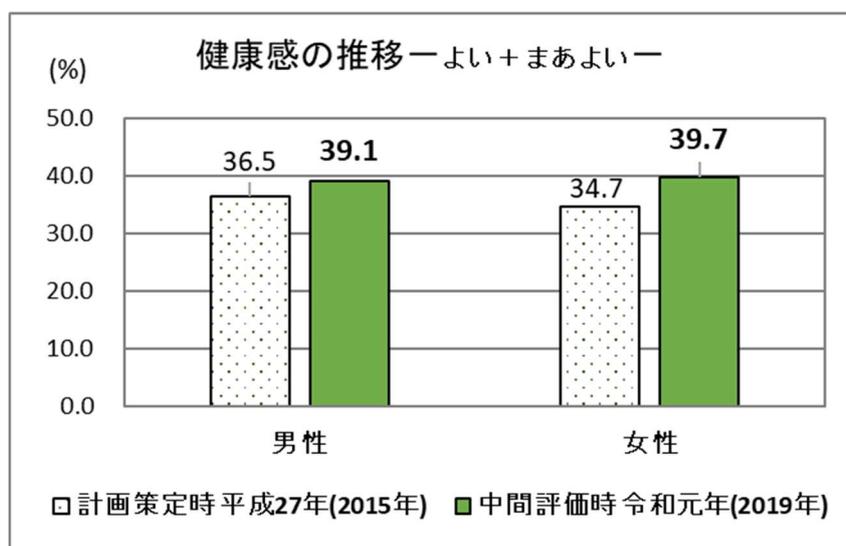
図にみるように「好き」と「やや好き」をあわせた割合は、男子が計画策定時よりもやや低下、女子は増加しました。女子の「好き」は、計画策定時から大きく増加しました。



運動の実技テストの結果に基づいて算出される「体力合計点」のT得点(全国平均点に対する相対的位置を示す指標であり、平均点が50点となる)は、男女ともに計画策定時に48.9点でしたが、中間値は男子が51.6点、女子が51.9点と高まり、男女とも奈良県を上まわりました。

健康の自己評価

健康の自己評価、健康の自覚感は、この5年間で「高まり」、すでに紹介したように健康増進の指標も改善していました。



生活の満足感と経済的状況

生活の満足度と経済的状況を、表に示します。生活の満足度は、男女とも増加しています。経済的状況も生活の満足度ほどではありませんが、「ゆとりがある」者が増加しています。

この状態を維持、更に向上させることが求められます。その要因の一つには、健康寿命、65歳平均自立期間の延長があります。

生活の満足度、経済的状況(%)

	計画策定時 平成27年(2015年)		中間評価時 令和元年(2019年)	
	男性	女性	男性	女性
生活の満足度(非常に満足+満足)	46.5	51.9	53.2	56.1
暮らしの経済的状況(大変ゆとりある+ややゆとりある)	11.8	13.3	15.3	15.6

ストレス実態

「ストレスの実態」は、表に示すようにストレスの「高まり」はなく、ストレス対処の場所(専門的な相談場所)の確保も進展した状況にあります。

それ以上、生活への満足度にかかわる項目が「高まる」傾向をもち、また、経済的状況についての自己評価も高まる傾向を把握できたことは、健康増進計画が「健幸」に近づけられる計画策定になるものと考えます。

過去1ヶ月のストレス、専門家による身近な相談の可能性(%)

ストレス項目	計画策定時 平成27年(2015年)		中間評価時 令和元年(2019年)	
	男性	女性	男性	女性
ストレス、過去1ヶ月に「よくあった」	40.7	42.0	41.0	41.6
専門家の相談が身近に「受けられる」	15.1	12.6	21.3	12.7

最後に

本中間評価報告書は、平成 28 年度を初年度とし、令和 7 年度を目標年度とする 10 年計画の中間年度にあたる令和 2 年度に実施した中間評価をまとめたものです。

本報告書では、各施策の進捗状況及び今後、さらに推進が必要な事項や重点的に取り組む事項を提示しました。

中間評価を実施した令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、保健事業のみならず、住民生活に大きな影響をもたらしました。評価のためのアンケートは、この大きな変化が起こる前の令和元年 8 月に実施した結果によるものです。コロナ禍による生活行動や住民意識が形成される前の段階の調査であったため、今後計画の残り 5 年間については、新しいライフスタイルによる影響が予想されます。

今後、感染症対策の上で地域住民の交流など環境変化に対応した健康支援の在り方を考え、臨機応変に対応しながら目標達成に向けてより一層推進していく必要があります。

<参考資料>

1. アンケート調査用紙

<ご本人がアンケートに記入できない場合について>

① 理由を次の中から選んで、○で囲んでください。

1. 長期不在のため 2. 病気などのため 3. その他

② ご本人がこのアンケートに記入できない場合は、以下の質問にお答えいただかなくても結構ですが、必ずご返送くださいますようお願い申し上げます。

※ アンケートを折りたたんで同封の返信用封筒に切手を貼らずに、令和元年8月16日(金)までにポストへ投函してください。

<記入に際してのお願い>

ご回答にあたっては質問をお読みいただき、該当する回答番号を○で囲んでください。

問4、7、21については、回答欄へ右詰めで数字をご記入ください。

※ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

また、畿央大学に対し、統計的な情報のみを提供して、広陵町の健康づくりの推進に取り組んでいただきます。皆さまのご理解をお願いいたします。

あなた自身のことについておたずねします。

問1. あなたの性別についてお答えください。

1. 男性 2. 女性

問2. あなたは、令和元年8月1日現在の時点でおいくつですか。

満 歳

問3. あなたがお住まいの小学校区をお答えください。(1つに○)

1. 西校区(大塚、安部、平尾、疋相、三吉、笠)
2. 東校区(南郷、古寺、百済、広瀬)
3. 北校区(沢、大野、萱野、南、弁財天、的場、大場、中、寺戸)
4. 真美2校区(馬見北1～9丁目、馬見中1～5丁目)
5. 真美1校区(馬見南1～6丁目、みささぎ台)

問4. 現在あなたと一緒に住んでいる(同居)人数を記入してください。いなければ0と記入してください。

人

上記同居人に75歳以上の方はいますか。

1. いる 2. いない

問5. 現在のあなたのお仕事についてお聞きます。(1つに○)

1. 働いていない(定期的な収入の無い方、年金生活者、学生を含む)
2. 農業に従事して収入を得ている
3. 自営業(自分で営む商店、その家族従業員など)
4. 勤務している(正規)
5. 勤務している(非正規)、パート、アルバイト、内職など

問6. 現在、あなたが加入されている医療保険をお答えください。(保険証で確認してください。)(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 協会けんぽ(全国健康保険協会) | 2. 会社の健康保険組合 |
| 3. 共済組合 | 4. 国民健康保険 |
| 5. その他() | |

問7. あなたの身長と体重をお答えください。(小数点以下は四捨五入してください。)

①身長	②体重
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg

問8. あなたは、現在の暮らし(経済的)の状況を総合的にみて、どう感じていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問9. あなたは、現在のご自身の生活に満足していますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 非常に満足している | 2. 満足している | 3. やや不満足である |
| 4. 不満足である | 5. どちらともいえない | |

問10. あなたは現在、毎日の生活のなかで時間的ゆとりがありますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| 1. 十分にある方だ | 2. まあある方だ | 3. あまりゆとりはない |
| 4. ほとんどない | | |

生活習慣についておたずねします。

問11. あなたは、現在、毎日の生活の中で困っていること、悩みや不安を感じていることなど解決したいことがありますか。それぞれの項目について、あなたの考えにもっとも近い回答番号を○で囲んでください。

	そう だ	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う で は な い
ア. 酒を飲む機会や量が多いこと	1	2	3	4
イ. たばこを吸うこと	1	2	3	4
ウ. 間食が多く、なかなかやめられないこと	1	2	3	4
エ. 塩っ辛いものがすきで、やめられないこと	1	2	3	4
オ. 油っぽいものがすきで、やめられないこと	1	2	3	4
カ. 甘いものがすきで、やめられないこと	1	2	3	4
キ. 散歩や運動など、からだを動かす機会が少ないこと	1	2	3	4

問12. あなたは、健康な食生活習慣のために、半年以上継続している取り組みがありますか。

1. ある 2. ない

あると答えた方にお聞きします。

どのような取り組みですか。

ア. 食事は腹八分目にしている	1. はい	2. いいえ
イ. 食事は10分以上かけている	1. はい	2. いいえ
ウ. 毎日牛乳または乳製品をとっている	1. はい	2. いいえ
エ. 毎日野菜料理を食べている	1. はい	2. いいえ
オ. 毎日果物を食べている	1. はい	2. いいえ
カ. 味噌汁やスープなどは1日2杯以上飲まないようにしている	1. はい	2. いいえ
キ. 油の多い料理を控えている	1. はい	2. いいえ
ク. 肉より魚を食べるようにしている	1. はい	2. いいえ
ケ. 外食をしないようにしている	1. はい	2. いいえ
コ. アルコール休肝日を作っている	1. はい	2. いいえ
サ. 地元野菜を食べている (地元野菜コーナーを利用している、作っている)	1. はい	2. いいえ
シ. 3食ごはんを食べる	1. はい	2. いいえ

問13. あなたは、時間をかけてよく噛んで(ひと口20~30回)食べていますか。(1つに○)

1. よく噛んで食べている 2. よく噛んで食べていない 3. わからない

問14. あなたは、身体を動かす運動やスポーツ(散歩やジョギングを含む)をどれくらいしていますか。(1つに○)

1. 毎日している
2. 週あたり2回以上している
3. 週あたり1回程度している
4. 月あたり1~2回している
5. ほとんどしていない

毎日している、または、週あたり2回以上していると答えた方にお聞きします。

1回あたりの運動の持続時間が30分以上で、かつ、この運動を1年以上つづけていますか。

1. はい 2. いいえ

問15. あなたは、「ロコモティブシンドローム」を知っていますか。(1つに○)

1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は知っているが内容は知らない 3. 知らない

問16. あなたは外出せず、主に家及びその周辺で過ごす日が週何日ありますか。

週 日 程度

問17. あなたは、COPD(慢性閉塞性肺疾患)を知っていますか。(1つに○)

1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は知っているが内容は知らない 3. 知らない

問18. あなたは、アルコール類を飲みますか。(1つに○)

1. ほとんど毎日飲んでいる 2. 毎日ではないが、週3日以上飲む 3. 週1～2日飲む
4. たまに飲む 5. 飲まない

問19. あなたは、たばこを吸っていますか。(1つに○)

1. 現在吸っている 2. 以前は吸っていたが、現在は吸っていない
3. 以前から吸っていない

現在吸っていると答えた方にお聞きします。

あなたは、たばこをやめたいですか。

1. やめたい 2. やめたくない

たばこをやめる治療をする医療機関が町内や職場の近くなどにあることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問20. たばこの煙を吸わされる機会(受動喫煙)がありますか。(1つに○)

1. 大いにある 2. 時にある 3. ほとんどない

問21. あなたの平日の睡眠時間は、平均何時間くらいですか。
おおよその就寝時間と併せてお答えください。

睡眠時間: 時間くらい

就寝時間: 時頃 (24時間表記でご記入ください。例:午後9時の場合、21 と記入)

地域との関わりについておたずねします。

問32. あなたは現在、地域で次のような活動をされていますか。

- | | | |
|--|-------|--------|
| ア. 地縁的な活動
(自治会、婦人会、老人会、青年団、消防団、子ども会等) | 1. はい | 2. いいえ |
| イ. スポーツ・趣味・娯楽活動
(各種スポーツ関係のグループやクラブ、芸術文化活動、生涯学習等) | 1. はい | 2. いいえ |
| ウ. ボランティア・NPO・住民活動
(まちづくり、高齢者・障害者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯、防災、環境、国際協力、提言活動など) | 1. はい | 2. いいえ |

問33. あなたは、近所で信頼して相談できる人がいますか。

1. いる 2. いない

問34. あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか？つきあいの程度について、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人がいる
2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3. あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
4. つきあいはまったくしていない

問35. つきあっている人の数について、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 近所のかかなり多くの人と面識・交流がある (概ね20人以上)
2. ある程度の人との面識・交流がある (概ね5～19人)
3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある (概ね4人以下)
4. 隣の人がだれかも知らない

老後への不安、準備についておたずねします。

問36. あなたは自分の老後においてどのようなことが不安ですか。

- | | | |
|----------------------|-------|--------|
| ア. 自分自身のからだのこと | 1. はい | 2. いいえ |
| イ. 経済的ゆとりのこと | 1. はい | 2. いいえ |
| ウ. 介護する立場になるかもしれないこと | 1. はい | 2. いいえ |

エ. 介護される立場になるかもしれないこと	1. はい	2. いいえ
オ. 家族のつながりが弱くなること	1. はい	2. いいえ
カ. 近所や知人・友人のつながりが弱くなること	1. はい	2. いいえ
キ. 妻または夫が病弱になること	1. はい	2. いいえ
ク. 現在の住宅の構造のこと	1. はい	2. いいえ
ケ. その他()	1. はい	2. いいえ

問37. あなたは、ご自分の老後に向けての準備のために、県や町役場などで実施してほしい催しがありますか。
それぞれの項目について、あなたの考えにもっとも近い回答番号を○で囲んでください。

	教室 や勉強会	広 報 提 供 の み	必 要 を 感 じ な い
ア. 年金・保険について	1	2	3
イ. 寝たきり予防のための、健康管理に関すること	1	2	3
ウ. 福祉制度や福祉サービスについて	1	2	3
エ. 介助・介護方法について	1	2	3
オ. 運動やスポーツ	1	2	3
カ. 疾病(病気)の予防や健康づくりに関すること	1	2	3

2. 集計表(広陵町健康増進アンケート:計画策定時平成27年(2015年)と中間評価時令和元年(2019年)比較)

問1 性別

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問1 性別	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	男性	708	180	91	105	188	144	553	155	63	75	153	107
		41.9	43.2	44.8	40.2	40.2	42.2	40.8	43.7	40.1	38.7	39.6	40.8
	女性	982	237	112	156	280	197	801	200	94	119	233	155
		58.1	56.8	55.2	59.8	59.8	57.8	59.2	56.3	59.9	61.3	60.4	59.2

年齢区分の項目

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
年齢区分 の項目	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	20~29歳	221	49	29	33	63	47	164	37	17	23	55	32
		13.1	11.8	14.3	12.6	13.5	13.8	12.1	10.4	10.8	11.9	14.2	12.2
	30~39歳	325	103	50	52	64	56	267	97	37	38	48	47
		19.2	24.7	24.6	19.9	13.7	16.4	19.7	27.3	23.6	19.6	12.4	17.9
	40~49歳	395	100	34	58	122	81	320	82	38	48	89	63
	23.4	24	16.7	22.2	26.1	23.8	23.6	23.1	24.2	24.7	23.1	24	
50~59歳	455	101	53	67	141	93	358	76	41	56	123	62	
	26.9	24.2	26.1	25.7	30.1	27.3	26.4	21.4	26.1	28.9	31.9	23.7	
60~64歳	294	64	37	51	78	64	245	63	24	29	71	58	
	17.4	15.3	18.2	19.5	16.7	18.8	18.1	17.7	15.3	14.9	18.4	22.1	

BMI区分の項目

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
BMI区分 の項目	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	~18.4	149	31	18	21	46	33	94	28	12	15	26	13
		8.8	7.4	8.9	8	9.8	9.7	6.9	7.9	7.6	7.7	6.7	5
	18.5~24.9	1,150	280	132	167	333	238	921	240	92	122	279	188
		68	67.1	65	64	71.2	69.8	68	67.6	58.6	62.9	72.3	71.8
25.0~	302	85	43	54	67	53	294	76	45	52	70	51	
	17.9	20.4	21.2	20.7	14.3	15.5	21.7	21.4	28.7	26.8	18.1	19.5	
未記入	89	21	10	19	22	17	45	11	8	5	11	10	
	5.3	5	4.9	7.3	4.7	5	3.3	3.1	5.1	2.6	2.8	3.8	

問4 同居人数グループの項目

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問4 同居人数グループの項目	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	0人	53	15	9	7	13	9	33	10	9	4	5	5
		3.1	3.6	4.4	2.7	2.8	2.6	2.4	2.8	5.7	2.1	1.3	1.9
	1人	212	41	18	32	58	63	229	57	17	36	59	60
		12.5	9.8	8.9	12.3	12.4	18.5	16.9	16.1	10.8	18.6	15.3	22.9
	2人	350	103	39	48	95	65	309	63	25	46	110	65
		20.7	24.7	19.2	18.4	20.3	19.1	22.8	17.7	15.9	23.7	28.5	24.8
	3人	549	123	49	91	167	119	429	114	54	52	125	84
		32.5	29.5	24.1	34.9	35.7	34.9	31.7	32.1	34.4	26.8	32.4	32.1
	4人	314	78	42	45	92	57	207	72	24	35	49	27
		18.6	18.7	20.7	17.2	19.7	16.7	15.3	20.3	15.3	18	12.7	10.3
	5人	129	34	24	17	31	23	103	22	18	16	30	17
		7.6	8.2	11.8	6.5	6.6	6.7	7.6	6.2	11.5	8.2	7.8	6.5
6人以上	81	23	21	20	12	5	42	17	9	5	7	4	
	4.8	5.5	10.3	7.7	2.6	1.5	3.1	4.8	5.7	2.6	1.8	1.5	
未記入	2	-	1	1	-	-	2	-	1	-	1	-	
	0.1	-	0.5	0.4	-	-	0.1	-	0.6	-	0.3	-	

問4 75歳以上の同居人

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問4 75歳以上の同居人	合計	1,635	402	193	253	455	332	1,319	345	147	190	380	257
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	いる	314	89	68	79	53	25	257	68	53	59	49	28
		19.2	22.1	35.2	31.2	11.6	7.5	19.5	19.7	36.1	31.1	12.9	10.9
いない	1,307	312	125	170	397	303	1,054	275	94	131	326	228	
	79.9	77.6	64.8	67.2	87.3	91.3	79.9	79.7	63.9	68.9	85.8	88.7	
未記入	14	1	-	4	5	4	8	2	-	-	5	1	
	0.9	0.2	-	1.6	1.1	1.2	0.6	0.6	-	-	1.3	0.4	

問5 職業

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問5 職業	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	働いていない	441	97	50	71	129	94	305	67	36	38	104	60
		26.1	23.3	24.6	27.2	27.6	27.6	22.5	18.9	22.9	19.6	26.9	22.9
	農業従事者	7	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		0.4	0.7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業	158	42	20	26	42	28	117	41	14	15	31	16
		9.3	10.1	9.9	10	9	8.2	8.6	11.5	8.9	7.7	8	6.1
勤務している(正規)	706	179	80	111	186	150	592	151	61	93	163	124	
	41.8	42.9	39.4	42.5	39.7	44	43.7	42.5	38.9	47.9	42.2	47.3	
勤務している(非正規)	377	96	49	53	111	68	333	95	44	47	87	60	
	22.3	23	24.1	20.3	23.7	19.9	24.6	26.8	28	24.2	22.5	22.9	
未記入	1	-	-	-	-	1	7	1	2	1	1	2	
	0.1	-	-	-	-	0.3	0.5	0.3	1.3	0.5	0.3	0.8	

問6 加入医療保険種類

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問6 加入医療保険種類	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	協会けんぽ	272	80	35	41	64	52	279	74	35	49	77	44
		16.1	19.2	17.2	15.7	13.7	15.2	20.6	20.8	22.3	25.3	19.9	16.8
	会社の健康保険組合	675	165	60	105	201	144	558	140	58	76	165	119
		39.9	39.6	29.6	40.2	42.9	42.2	41.2	39.4	36.9	39.2	42.7	45.4
	共済組合	242	44	33	32	74	59	195	52	18	28	58	39
		14.3	10.6	16.3	12.3	15.8	17.3	14.4	14.6	11.5	14.4	15	14.9
国民健康保険	388	101	61	64	92	70	257	73	39	33	67	45	
	23	24.2	30	24.5	19.7	20.5	19	20.6	24.8	17	17.4	17.2	
その他	13	5	2	-	3	3	14	2	-	1	5	6	
	0.8	1.2	1	-	0.6	0.9	1	0.6	-	0.5	1.3	2.3	
未記入	100	22	12	19	34	13	51	14	7	7	14	9	
	5.9	5.3	5.9	7.3	7.3	3.8	3.8	3.9	4.5	3.6	3.6	3.4	

問8 現在の暮らし(経済的)の状況

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問8 現在の暮らし(経済的)の状況	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	大変苦しい	138	42	27	22	29	18	96	33	15	9	20	19
		8.2	10.1	13.3	8.4	6.2	5.3	7.1	9.3	9.6	4.6	5.2	7.3
	やや苦しい	429	117	75	71	87	79	303	96	44	56	59	48
		25.4	28.1	36.9	27.2	18.6	23.2	22.4	27	28	28.9	15.3	18.3
	ふつう	841	206	82	126	246	181	722	190	86	105	200	141
		49.8	49.4	40.4	48.3	52.6	53.1	53.3	53.5	54.8	54.1	51.8	53.8
ややゆとりがある	195	32	12	27	80	44	183	29	8	22	78	46	
	11.5	7.7	5.9	10.3	17.1	12.9	13.5	8.2	5.1	11.3	20.2	17.6	
大変ゆとりがある	19	3	1	1	7	7	26	2	2	1	15	6	
	1.1	0.7	0.5	0.4	1.5	2.1	1.9	0.6	1.3	0.5	3.9	2.3	
未記入	68	17	6	14	19	12	24	5	2	1	14	2	
	4	4.1	3	5.4	4.1	3.5	1.8	1.4	1.3	0.5	3.6	0.8	

問9 現在のご自身の生活に満足しているか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問9 現在のご自身の生活に満足しているか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	非常に満足している	56	17	6	5	15	13	78	20	4	5	34	15
		3.3	4.1	3	1.9	3.2	3.8	5.8	5.6	2.5	2.6	8.8	5.7
	満足している	782	160	72	111	264	175	665	144	79	81	209	152
		46.3	38.4	35.5	42.5	56.4	51.3	49.1	40.6	50.3	41.8	54.1	58
	やや不満足である	406	115	62	61	93	75	328	97	38	68	71	54
	24	27.6	30.5	23.4	19.9	22	24.2	27.3	24.2	35.1	18.4	20.6	
不満足である	157	48	28	25	31	25	111	35	18	14	24	20	
	9.3	11.5	13.8	9.6	6.6	7.3	8.2	9.9	11.5	7.2	6.2	7.6	
どちらともいえない	216	58	29	42	47	40	148	51	16	25	37	19	
	12.8	13.9	14.3	16.1	10	11.7	10.9	14.4	10.2	12.9	9.6	7.3	
未記入	73	19	6	17	18	13	24	8	2	1	11	2	
	4.3	4.6	3	6.5	3.8	3.8	1.8	2.3	1.3	0.5	2.8	0.8	

問10 毎日の生活の中で時間的ゆとり

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問10 毎日の生活の中で時間的ゆとり	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	十分にある方だ	128	27	8	19	38	36	115	20	14	10	43	28
		7.6	6.5	3.9	7.3	8.1	10.6	8.5	5.6	8.9	5.2	11.1	10.7
	まあある方だ	681	163	73	116	197	132	612	160	64	92	177	119
		40.3	39.1	36	44.4	42.1	38.7	45.2	45.1	40.8	47.4	45.9	45.4
	あまりゆとりはない	618	157	81	82	177	121	464	125	63	70	117	89
	36.6	37.6	39.9	31.4	37.8	35.5	34.3	35.2	40.1	36.1	30.3	34	
ほとんどない	193	53	32	29	38	41	142	45	14	22	38	23	
	11.4	12.7	15.8	11.1	8.1	12	10.5	12.7	8.9	11.3	9.8	8.8	
未記入	70	17	9	15	18	11	21	5	2	-	11	3	
	4.1	4.1	4.4	5.7	3.8	3.2	1.6	1.4	1.3	-	2.8	1.1	

問11 毎日の生活の悩み ア酒を飲む機会や量が多い

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問11 毎日の生活の悩み ア酒を飲む機会や量が多い	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	そうだ	47	17	7	7	6	10	30	5	4	4	14	3
		2.8	4.1	3.4	2.7	1.3	2.9	2.2	1.4	2.5	2.1	3.6	1.1
	どちらかといえばそう だ	142	40	14	20	38	30	93	26	4	13	31	19
		8.4	9.6	6.9	7.7	8.1	8.8	6.9	7.3	2.5	6.7	8	7.3
	どちらかといえばそう でない	206	50	25	37	54	40	155	45	14	14	50	32
	12.2	12	12.3	14.2	11.5	11.7	11.4	12.7	8.9	7.2	13	12.2	
そうでない	1,213	291	147	178	350	247	1,048	271	128	163	280	206	
	71.8	69.8	72.4	68.2	74.8	72.4	77.4	76.3	81.5	84	72.5	78.6	
未記入	82	19	10	19	20	14	28	8	7	-	11	2	
	4.9	4.6	4.9	7.3	4.3	4.1	2.1	2.3	4.5	-	2.8	0.8	

問11 毎日の生活の悩み イたばこを吸うこと

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問11 毎日の生活の悩み イたばこを吸うこと	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	そうだ	93	27	14	20	15	17	43	20	5	5	7	6
		5.5	6.5	6.9	7.7	3.2	5	3.2	5.6	3.2	2.6	1.8	2.3
	どちらかといえばそう だ	75	22	9	14	17	13	41	11	8	10	6	6
		4.4	5.3	4.4	5.4	3.6	3.8	3	3.1	5.1	5.2	1.6	2.3
	どちらかといえばそう でない	50	15	10	9	10	6	25	5	6	3	5	6
	3	3.6	4.9	3.4	2.1	1.8	1.8	1.4	3.8	1.5	1.3	2.3	
そうでない	1,388	335	158	199	404	292	1,214	310	132	175	356	241	
	82.1	80.3	77.8	76.2	86.3	85.6	89.7	87.3	84.1	90.2	92.2	92	
未記入	84	18	12	19	22	13	31	9	6	1	12	3	
	5	4.3	5.9	7.3	4.7	3.8	2.3	2.5	3.8	0.5	3.1	1.1	

問11 毎日の生活の悩み ウ間食が多くなかなかやめられないこと

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問11 毎日の生活の悩み ウ間食が多くなかなかやめられないこと	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	そうだ	98	26	16	14	25	17	73	17	11	13	19	13
		5.8	6.2	7.9	5.4	5.3	5	5.4	4.8	7	6.7	4.9	5
	どちらかといえばそう うだ	333	86	27	55	94	71	290	76	39	39	81	55
		19.7	20.6	13.3	21.1	20.1	20.8	21.4	21.4	24.8	20.1	21	21
	どちらかといえばそう うでない	330	81	42	49	84	74	292	79	36	35	85	57
		19.5	19.4	20.7	18.8	17.9	21.7	21.6	22.3	22.9	18	22	21.8
そうでない	851	205	110	125	245	166	669	173	64	106	191	135	
	50.4	49.2	54.2	47.9	52.4	48.7	49.4	48.7	40.8	54.6	49.5	51.5	
未記入	78	19	8	18	20	13	30	10	7	1	10	2	
	4.6	4.6	3.9	6.9	4.3	3.8	2.2	2.8	4.5	0.5	2.6	0.8	

問11 毎日の生活の悩み 工塩っ辛いものがすきでやめられないこと

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問11 毎日の生活の悩み 工塩っ辛いものがすきでやめられないこと	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	そうだ	44	17	3	7	8	9	36	9	6	6	12	3
		2.6	4.1	1.5	2.7	1.7	2.6	2.7	2.5	3.8	3.1	3.1	1.1
	どちらかといえばそう うだ	212	56	27	33	53	43	151	44	17	28	33	29
		12.5	13.4	13.3	12.6	11.3	12.6	11.2	12.4	10.8	14.4	8.5	11.1
	どちらかといえばそう うでない	336	82	36	58	90	70	288	75	35	38	81	59
		19.9	19.7	17.7	22.2	19.2	20.5	21.3	21.1	22.3	19.6	21	22.5
そうでない	1,014	244	126	142	297	205	847	216	92	121	249	169	
	60	58.5	62.1	54.4	63.5	60.1	62.6	60.8	58.6	62.4	64.5	64.5	
未記入	84	18	11	21	20	14	32	11	7	1	11	2	
	5	4.3	5.4	8	4.3	4.1	2.4	3.1	4.5	0.5	2.8	0.8	

問11 毎日の生活の悩み オ油っばいものがすきでやめられないこと

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問11 毎日の生活の悩み オ油っばいものがすきでやめられないこと	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	そうだ	45	14	6	4	10	11	47	16	8	7	11	5
		2.7	3.4	3	1.5	2.1	3.2	3.5	4.5	5.1	3.6	2.8	1.9
	どちらかといえばそう うだ	271	77	30	43	67	54	200	56	23	28	50	43
		16	18.5	14.8	16.5	14.3	15.8	14.8	15.8	14.6	14.4	13	16.4
	どちらかといえばそう うでない	389	93	47	64	101	84	316	87	35	41	87	66
		23	22.3	23.2	24.5	21.6	24.6	23.3	24.5	22.3	21.1	22.5	25.2
そうでない	902	215	110	130	270	177	758	185	85	117	226	145	
	53.4	51.6	54.2	49.8	57.7	51.9	56	52.1	54.1	60.3	58.5	55.3	
未記入	83	18	10	20	20	15	33	11	6	1	12	3	
	4.9	4.3	4.9	7.7	4.3	4.4	2.4	3.1	3.8	0.5	3.1	1.1	

問11 毎日の生活の悩み カ甘いものがすきでやめられないこと

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問11 毎日の生活の悩み カ甘いものがすきでやめられないこと	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	そうだ	115	30	13	19	24	29	114	23	19	16	38	18
		6.8	7.2	6.4	7.3	5.1	8.5	8.4	6.5	12.1	8.2	9.8	6.9
	どちらかといえばそう うだ	381	96	42	56	113	74	304	77	29	43	89	66
		22.5	23	20.7	21.5	24.1	21.7	22.5	21.7	18.5	22.2	23.1	25.2
	どちらかといえばそう うでない	407	109	42	64	104	88	320	95	42	40	85	58
		24.1	26.1	20.7	24.5	22.2	25.8	23.6	26.8	26.8	20.6	22	22.1
そうでない	703	163	96	101	207	136	582	148	60	94	163	117	
	41.6	39.1	47.3	38.7	44.2	39.9	43	41.7	38.2	48.5	42.2	44.7	
未記入	84	19	10	21	20	14	34	12	7	1	11	3	
	5	4.6	4.9	8	4.3	4.1	2.5	3.4	4.5	0.5	2.8	1.1	

問11 毎日の生活の悩み キ散歩や運動などからだを動かす機会が少ないこと

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問11 毎日の生活の悩み キ散歩や運動などからだを動かす機会が少ないこと	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	そうだ	369	114	37	59	92	67	294	85	39	47	63	60
		21.8	27.3	18.2	22.6	19.7	19.6	21.7	23.9	24.8	24.2	16.3	22.9
	どちらかといえばそうだ	580	145	75	91	149	120	464	112	53	73	145	81
		34.3	34.8	36.9	34.9	31.8	35.2	34.3	31.5	33.8	37.6	37.6	30.9
	どちらかといえばそうでない	279	69	32	48	75	55	239	64	21	32	77	45
		16.5	16.5	15.8	18.4	16	16.1	17.7	18	13.4	16.5	19.9	17.2
そうでない	382	72	48	44	133	85	332	85	40	41	92	74	
	22.6	17.3	23.6	16.9	28.4	24.9	24.5	23.9	25.5	21.1	23.8	28.2	
未記入	80	17	11	19	19	14	25	9	4	1	9	2	
	4.7	4.1	5.4	7.3	4.1	4.1	1.8	2.5	2.5	0.5	2.3	0.8	

問12 健康な食生活習慣のために半年以上継続している取り組み

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問12 健康な食生活習慣のために半年以上継続している取り組み	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	ある	704	160	66	92	232	154	604	146	58	76	200	124
		41.7	38.4	32.5	35.2	49.6	45.2	44.6	41.1	36.9	39.2	51.8	47.3
	ない	920	242	132	154	218	174	674	192	90	106	158	128
	54.4	58	65	59	46.6	51	49.8	54.1	57.3	54.6	40.9	48.9	
未記入	66	15	5	15	18	13	76	17	9	12	28	10	
	3.9	3.6	2.5	5.7	3.8	3.8	5.6	4.8	5.7	6.2	7.3	3.8	

問12 取り組み内容

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問12 取り組み内容	合計	704	160	66	92	232	154	604	146	58	76	200	124
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	食事は腹八分目にしている	396	90	41	54	127	84	341	80	32	41	118	70
		56.3	56.3	62.1	58.7	54.7	54.5	56.5	54.8	55.2	53.9	59	56.5
	食事は10分以上かけている	437	91	46	52	144	104	385	85	35	50	136	79
		62.1	56.9	69.7	56.5	62.1	67.5	63.7	58.2	60.3	65.8	68	63.7
	毎日牛乳または乳製品をとっている	486	105	36	63	176	106	418	93	34	50	150	91
		69	65.6	54.5	68.5	75.9	68.8	69.2	63.7	58.6	65.8	75	73.4
	毎日野菜料理を食べている	615	135	53	84	206	137	531	123	54	62	182	110
		87.4	84.4	80.3	91.3	88.8	89	87.9	84.2	93.1	81.6	91	88.7
	毎日果物を食べている	249	46	18	42	94	49	213	47	19	23	74	50
		35.4	28.8	27.3	45.7	40.5	31.8	35.3	32.2	32.8	30.3	37	40.3
	味噌汁やスープなどは1日2杯以上は飲まないようにしている	438	98	41	63	137	99	358	73	41	50	120	74
		62.2	61.3	62.1	68.5	59.1	64.3	59.3	50	70.7	65.8	60	59.7
	油の多い料理を控えている	386	89	35	49	135	78	300	72	27	45	101	55
		54.8	55.6	53	53.3	58.2	50.6	49.7	49.3	46.6	59.2	50.5	44.4
	肉より魚を食べるようにしている	263	63	31	36	81	52	168	43	17	23	60	25
		37.4	39.4	47	39.1	34.9	33.8	27.8	29.5	29.3	30.3	30	20.2
	外食をしないようにしている	299	65	30	43	100	61	229	61	21	30	75	42
		42.5	40.6	45.5	46.7	43.1	39.6	37.9	41.8	36.2	39.5	37.5	33.9
アルコール休肝日を作っている	433	95	40	57	147	94	388	95	36	56	126	75	
	61.5	59.4	60.6	62	63.4	61	64.2	65.1	62.1	73.7	63	60.5	
地元野菜を食べている	370	84	36	50	125	75	264	62	31	36	86	49	
	52.6	52.5	54.5	54.3	53.9	48.7	43.7	42.5	53.4	47.4	43	39.5	
3食ごはんを食べる	401	87	34	53	141	86	379	83	36	38	142	80	
	57	54.4	51.5	57.6	60.8	55.8	62.7	56.8	62.1	50	71	64.5	
全ていいえ	1	1	0	0	0	0	1	-	1	-	-	-	
	0.1	0.6	0	0	0	0	0.2	-	1.7	-	-	-	
未記入	6	1	0	3	1	1	8	4	-	2	-	2	
	0.9	0.6	0	3.3	0.4	0.6	1.3	2.7	-	2.6	-	1.6	

問13 時間をかけてよく噛んで食べていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問13 時間をかけてよく噛んで食べていますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	よく噛んで食べている	244	48	40	34	67	55	239	61	22	34	67	55
		14.4	11.5	19.7	13	14.3	16.1	17.7	17.2	14	17.5	17.4	21
	よく噛んで食べていない	979	257	117	137	269	199	798	214	95	116	228	145
		57.9	61.6	57.6	52.5	57.5	58.4	58.9	60.3	60.5	59.8	59.1	55.3
わからない	398	97	41	74	112	74	299	76	38	44	83	58	
	23.6	23.3	20.2	28.4	23.9	21.7	22.1	21.4	24.2	22.7	21.5	22.1	
未記入	69	15	5	16	20	13	18	4	2	-	8	4	
	4.1	3.6	2.5	6.1	4.3	3.8	1.3	1.1	1.3	-	2.1	1.5	

問14 身体を動かす運動やスポーツをどれくらいしていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問14 身体を動かす運動やスポーツをどれくらいしていますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	毎日している	153	33	25	15	46	34	151	41	14	22	48	26
		9.1	7.9	12.3	5.7	9.8	10	11.2	11.5	8.9	11.3	12.4	9.9
	週あたり2回以上している	258	49	23	36	96	54	260	52	26	33	91	58
		15.3	11.8	11.3	13.8	20.5	15.8	19.2	14.6	16.6	17	23.6	22.1
	週あたり1回程度している	197	46	21	27	55	48	185	43	23	25	58	36
		11.7	11	10.3	10.3	11.8	14.1	13.7	12.1	14.6	12.9	15	13.7
月あたり1~2回している	174	37	22	28	46	41	113	34	7	14	36	22	
	10.3	8.9	10.8	10.7	9.8	12	8.3	9.6	4.5	7.2	9.3	8.4	
ほとんどしていない	841	238	106	139	206	152	629	181	85	100	145	118	
	49.8	57.1	52.2	53.3	44	44.6	46.5	51	54.1	51.5	37.6	45	
未記入	67	14	6	16	19	12	16	4	2	-	8	2	
	4	3.4	3	6.1	4.1	3.5	1.2	1.1	1.3	-	2.1	0.8	

問14 運動を1回30分以上1年以上つづけていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問14 運動を1回30分以上1年以上つづけていますか	合計	411	82	48	51	142	88	411	93	40	55	139	84
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	はい	288	47	25	35	111	70	302	67	27	36	103	69
		70.1	57.3	52.1	68.6	78.2	79.5	73.5	72	67.5	65.5	74.1	82.1
	いいえ	120	34	23	16	29	18	109	26	13	19	36	15
	29.2	41.5	47.9	31.4	20.4	20.5	26.5	28	32.5	34.5	25.9	17.9	
未記入	3	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
	0.7	1.2	-	-	1.4	-	-	-	-	-	-	-	

問15 ロコモティブシンドロームを知っていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問15 ロコモティブシンドロームを知っていますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	言葉も内容も知っている	235	58	18	30	73	56	239	51	15	26	97	50
		13.9	13.9	8.9	11.5	15.6	16.4	17.7	14.4	9.6	13.4	25.1	19.1
	言葉は知っているが内容は知らない	262	53	28	47	75	59	223	64	26	32	58	43
		15.5	12.7	13.8	18	16	17.3	16.5	18	16.6	16.5	15	16.4
知らない	1,171	300	156	179	313	223	849	231	113	130	214	161	
	69.3	71.9	76.8	68.6	66.9	65.4	62.7	65.1	72	67	55.4	61.5	
未記入	22	6	1	5	7	3	43	9	3	6	17	8	
	1.3	1.4	0.5	1.9	1.5	0.9	3.2	2.5	1.9	3.1	4.4	3.1	

問16 外出せず家及び周辺で過ごす日が週何日ありますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問16 外出せず家及び周辺で過ごす日が週何日ありますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	0日(ない)	385	87	44	56	125	73	346	93	41	54	91	67
		22.8	20.9	21.7	21.5	26.7	21.4	25.6	26.2	26.1	27.8	23.6	25.6
	1~2日程度	909	233	102	129	244	201	733	189	83	98	217	146
		53.8	13.8	6	7.6	14.4	11.9	54.1	53.2	52.9	50.5	56.2	55.7
	3~4日程度	167	34	14	34	49	36	113	24	12	19	35	23
		9.9	2	0.8	2	2.9	2.1	8.3	6.8	7.6	9.8	9.1	8.8
5~6日程度	125	33	20	24	28	20	65	20	9	9	15	12	
	7.4	2	1.2	1.4	1.7	1.2	4.8	5.6	5.7	4.6	3.9	4.6	
7日(毎日)	36	14	5	6	8	3	34	13	5	6	7	3	
	2.1	3.4	2.5	2.3	1.7	0.9	2.5	3.7	3.2	3.1	1.8	1.1	
未記入	68	16	18	12	14	8	63	16	7	8	21	11	
	4	3.8	8.9	4.6	3	2.3	4.7	4.5	4.5	4.1	5.4	4.2	

問17 COPDを知っていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問17 C OPDを知っていますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	言葉も内容も知っている	266	66	25	37	80	58	288	71	20	34	110	53
		15.7	15.8	12.3	14.2	17.1	17	21.3	20	12.7	17.5	28.5	20.2
	言葉は知っているが内容は知らない	289	77	37	50	70	55	261	60	31	35	74	61
		17.1	18.5	18.2	19.2	15	16.1	19.3	16.9	19.7	18	19.2	23.3
	知らない	1,113	268	138	171	313	223	765	214	103	120	188	140
	65.9	64.3	68	65.5	66.9	65.4	56.5	60.3	65.6	61.9	48.7	53.4	
未記入	22	6	3	3	5	5	40	10	3	5	14	8	
	1.3	1.4	1.5	1.1	1.1	1.5	3	2.8	1.9	2.6	3.6	3.1	

問18 アルコール類を飲みますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問18 アルコール類を飲みますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	ほとんど毎日飲んでいる	325	87	42	42	81	73	212	58	28	26	62	38
		19.2	20.9	20.7	16.1	17.3	21.4	15.7	16.3	17.8	13.4	16.1	14.5
	毎日ではないが週3日以上飲む	165	38	14	25	52	36	120	36	16	15	36	17
		9.8	9.1	6.9	9.6	11.1	10.6	8.9	10.1	10.2	7.7	9.3	6.5
	週1~2日飲む	138	28	8	23	45	34	120	22	11	13	42	32
		8.2	6.7	3.9	8.8	9.6	10	8.9	6.2	7	6.7	10.9	12.2
	たまに飲む	477	114	64	75	139	85	411	115	46	62	110	78
		28.2	27.3	31.5	28.7	29.7	24.9	30.4	32.4	29.3	32	28.5	29.8
飲まない	574	146	75	93	148	112	456	117	53	74	124	88	
	34	35	36.9	35.6	31.6	32.8	33.7	33	33.8	38.1	32.1	33.6	
未記入	11	4	-	3	3	1	35	7	3	4	12	9	
	0.7	1	-	1.1	0.6	0.3	2.6	2	1.9	2.1	3.1	3.4	

問19 たばこを吸っていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問19 たばこを吸っていますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	現在吸っている	277	81	46	50	48	52	151	56	27	22	24	22
		16.4	19.4	22.7	19.2	10.3	15.2	11.2	15.8	17.2	11.3	6.2	8.4
	以前は吸っていたが現在は吸っていない	322	89	37	42	97	57	257	78	32	41	61	45
		19.1	21.3	18.2	16.1	20.7	16.7	19	22	20.4	21.1	15.8	17.2
	以前から吸っていない	1,078	243	120	167	318	230	910	212	95	127	289	187
	63.8	58.3	59.1	64	67.9	67.4	67.2	59.7	60.5	65.5	74.9	71.4	
未記入	13	4	-	2	5	2	36	9	3	4	12	8	
	0.8	1	-	0.8	1.1	0.6	2.7	2.5	1.9	2.1	3.1	3.1	

問19 たばこをやめたいですか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問19 たばこをやめたいですか	合計	277	81	46	50	48	52	151	56	27	22	24	22
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	やめたい	125	37	17	27	24	20	62	20	14	8	11	9
		45.1	45.7	37	54	50	38.5	41.1	35.7	51.9	36.4	45.8	40.9
	やめたくない	144	43	29	20	23	29	87	34	13	14	13	13
	52	53.1	63	40	47.9	55.8	57.6	60.7	48.1	63.6	54.2	59.1	
未記入	8	1	-	3	1	3	2	2	-	-	-	-	
	2.9	1.2	-	6	2.1	5.8	1.3	3.6	-	-	-	-	

問19 たばこをやめる治療をする医療機関が庁内や職場の近くにあることを知っているか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問19 たばこをやめる治療をする医療機関が庁内や職場の近くにあることを知っているか	合計	277	81	46	50	48	52	151	56	27	22	24	22
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	知っている	166	50	23	32	28	33	92	35	13	11	16	17
		59.9	61.7	50	64	58.3	63.5	60.9	62.5	48.1	50	66.7	77.3
	知らない	110	31	23	18	20	18	58	21	14	11	7	5
	39.7	38.3	50	36	41.7	34.6	38.4	37.5	51.9	50	29.2	22.7	
未記入	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	
	0.4	-	-	-	-	1.9	0.7	-	-	-	4.2	-	

問20 受動喫煙の機会がありますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問20 受動喫煙の機会がありますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	大いにある	263	73	34	58	49	49	157	51	25	26	28	27
		15.6	17.5	16.7	22.2	10.5	14.4	11.6	14.4	15.9	13.4	7.3	10.3
	時にある	578	144	73	84	160	117	429	114	54	61	120	80
	34.2	34.5	36	32.2	34.2	34.3	31.7	32.1	34.4	31.4	31.1	30.5	
ほとんどない	714	165	81	96	217	155	629	151	66	89	198	125	
	42.2	39.6	39.9	36.8	46.4	45.5	46.5	42.5	42	45.9	51.3	47.7	
未記入	135	35	15	23	42	20	139	39	12	18	40	30	
	8	8.4	7.4	8.8	9	5.9	10.3	11	7.6	9.3	10.4	11.5	

問21 睡眠時間グループの項目

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問21 睡眠時間グループの項目	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	1時間	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		0.1	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2時間	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-
		0.1	-	-	-	-	0.3	0.1	-	-	0.5	-	-
	3時間	6	2	-	-	2	2	6	3	1	1	1	-
		0.4	0.5	-	-	0.4	0.6	0.4	0.8	0.6	0.5	0.3	-
	4時間	68	11	9	13	19	16	56	14	11	11	14	6
		4	2.6	4.4	5	4.1	4.7	4.1	3.9	7	5.7	3.6	2.3
	5時間	327	92	36	50	85	64	252	70	25	38	76	43
		19.3	22.1	17.7	19.2	18.2	18.8	18.6	19.7	15.9	19.6	19.7	16.4
	6時間	689	165	84	109	198	133	530	133	68	73	152	104
		40.8	39.6	41.4	41.8	42.3	39	39.1	37.5	43.3	37.6	39.4	39.7
	7時間	410	101	47	55	116	91	354	96	39	48	109	62
	24.3	24.2	23.2	21.1	24.8	26.7	26.1	27	24.8	24.7	28.2	23.7	
8時間	143	33	19	26	38	27	102	26	8	13	21	34	
	8.5	7.9	9.4	10	8.1	7.9	7.5	7.3	5.1	6.7	5.4	13	
9時間	6	2	2	1	1	-	9	2	-	2	1	4	
	0.4	0.5	1	0.4	0.2	-	0.7	0.6	-	1	0.3	1.5	
10時間以上	15	4	2	4	1	4	8	3	2	2	-	1	
	0.9	1	1	1.5	0.2	1.2	0.6	0.8	1.3	1	-	0.4	
未記入	24	7	3	3	8	3	36	8	3	5	12	8	
	1.4	1.7	1.5	1.1	1.7	0.9	2.7	2.3	1.9	2.6	3.1	3.1	

問22 過去1か月にストレスを感じたことがある

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問22 過去1か月にストレスを感じたことがある	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	よくある	700	195	88	114	181	122	560	154	68	81	152	105
		41.4	46.8	43.3	43.7	38.7	35.8	41.4	43.4	43.3	41.8	39.4	40.1
	すこしある	854	192	98	122	252	190	655	165	73	97	193	127
	50.5	46	48.3	46.7	53.8	55.7	48.4	46.5	46.5	50	50	48.5	
全然ない	124	26	16	22	32	28	100	25	13	12	29	21	
	7.3	6.2	7.9	8.4	6.8	8.2	7.4	7	8.3	6.2	7.5	8	
未記入	12	4	1	3	3	1	39	11	3	4	12	9	
	0.7	1	0.5	1.1	0.6	0.3	2.9	3.1	1.9	2.1	3.1	3.4	

問22 ストレスを感じる内容

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問22 ストレスを感じる内容	合計	1,554	387	186	236	433	312	1,215	319	141	178	345	232
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	職場の人間関係	620	165	76	88	167	124	508	122	62	83	134	107
		39.9	42.6	40.9	37.3	38.6	39.7	41.8	38.2	44	46.6	38.8	46.1
	仕事の問題	893	234	110	124	247	178	687	181	74	103	185	144
		57.5	60.5	59.1	52.5	57	57.1	56.5	56.7	52.5	57.9	53.6	62.1
	健康面の問題	548	129	70	88	152	109	435	117	49	60	121	88
		35.3	33.3	37.6	37.3	35.1	34.9	35.8	36.7	34.8	33.7	35.1	37.9
	経済面の問題	649	185	99	101	146	118	438	137	59	64	102	76
		41.8	47.8	53.2	42.8	33.7	37.8	36	42.9	41.8	36	29.6	32.8
家族の問題	801	193	101	123	227	157	594	153	71	92	178	100	
	51.5	49.9	54.3	52.1	52.4	50.3	48.9	48	50.4	51.7	51.6	43.1	
その他	128	31	13	17	37	30	100	17	13	12	39	19	
	8.2	8	7	7.2	8.5	9.6	8.2	5.3	9.2	6.7	11.3	8.2	
全ていいえ	-	-	-	-	-	-	5	1	2	-	-	2	
	-	-	-	-	-	-	0.4	0.3	1.4	-	-	0.9	
未記入	27	7	6	4	7	3	23	9	1	2	7	4	
	1.7	1.8	3.2	1.7	1.6	1	1.9	2.8	0.7	1.1	2	1.7	

問23 専門家によるストレスなどの相談を身近で受けられるか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問23 専門家によるストレスなどの相談を身近で受けられるか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	受けられる	231	58	27	23	63	60	220	48	22	30	73	47
		13.7	13.9	13.3	8.8	13.5	17.6	16.2	13.5	14	15.5	18.9	17.9
	受けられない	484	108	62	96	130	88	339	90	40	50	83	76
	28.6	25.9	30.5	36.8	27.8	25.8	25	25.4	25.5	25.8	21.5	29	
わからない	941	243	107	136	265	190	749	205	91	109	217	127	
	55.7	58.3	52.7	52.1	56.6	55.7	55.3	57.7	58	56.2	56.2	48.5	
未記入	34	8	7	6	10	3	46	12	4	5	13	12	
	2	1.9	3.4	2.3	2.1	0.9	3.4	3.4	2.5	2.6	3.4	4.6	

問24 現在の健康状態

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問24 現在の健康状態	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	よい	195	41	19	26	59	50	163	46	16	16	54	31
		11.5	9.8	9.4	10	12.6	14.7	12	13	10.2	8.2	14	11.8
	まあよい	404	90	41	64	134	75	371	82	28	48	119	94
		23.9	21.6	20.2	24.5	28.6	22	27.4	23.1	17.8	24.7	30.8	35.9
	ふつう	817	204	99	136	214	164	617	170	90	94	163	100
		48.3	48.9	48.8	52.1	45.7	48.1	45.6	47.9	57.3	48.5	42.2	38.2
	あまりよくない	226	64	39	27	53	43	142	39	18	24	35	26
		13.4	15.3	19.2	10.3	11.3	12.6	10.5	11	11.5	12.4	9.1	9.9
よくない	30	11	5	6	2	6	25	9	2	6	4	4	
	1.8	2.6	2.5	2.3	0.4	1.8	1.8	2.5	1.3	3.1	1	1.5	
未記入	18	7	-	2	6	3	36	9	3	6	11	7	
	1.1	1.7	-	0.8	1.3	0.9	2.7	2.5	1.9	3.1	2.8	2.7	

問25 健康上の問題で日常生活に何か支障はありますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問25 健康上の問題で日常生活に何か支障はありますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	日常生活動作	61	16	12	9	12	12	21	7	3	3	3	5
		3.6	3.8	5.9	3.4	2.6	3.5	1.6	2	1.9	1.5	0.8	1.9
	外出	77	20	18	14	8	17	45	14	6	9	7	9
		4.6	4.8	8.9	5.4	1.7	5	3.3	3.9	3.8	4.6	1.8	3.4
	仕事、家事、学業	114	34	22	17	21	20	75	18	13	15	17	12
		6.7	8.2	10.8	6.5	4.5	5.9	5.5	5.1	8.3	7.7	4.4	4.6
運動	133	32	23	26	29	23	92	30	8	11	22	21	
	7.9	7.7	11.3	10	6.2	6.7	6.8	8.5	5.1	5.7	5.7	8	
その他	20	7	3	5	2	3	22	2	5	6	6	3	
	1.2	1.7	1.5	1.9	0.4	0.9	1.6	0.6	3.2	3.1	1.6	1.1	
全ていいえ	549	142	53	80	162	112	462	127	48	59	135	93	
	32.5	34.1	26.1	30.7	34.6	32.8	34.1	35.8	30.6	30.4	35	35.5	
未記入	914	218	111	140	256	189	734	184	86	108	217	139	
	54.1	52.3	54.7	53.6	54.7	55.4	54.2	51.8	54.8	55.7	56.2	53.1	

問26 次の病名で医師による診断を下されたことがある

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問26 次の病名で医師による診断を下されたことがある	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	高血圧症	214	58	19	38	63	36	178	51	21	25	50	31
		12.7	13.9	9.4	14.6	13.5	10.6	13.1	14.4	13.4	12.9	13	11.8
	脂質異常症	422	106	45	66	128	77	308	82	34	50	91	51
		25	25.4	22.2	25.3	27.4	22.6	22.7	23.1	21.7	25.8	23.6	19.5
	糖尿病	69	25	9	11	12	12	48	12	7	11	9	9
	4.1	6	4.4	4.2	2.6	3.5	3.5	3.4	4.5	5.7	2.3	3.4	
全ていいえ	1,136	267	143	169	306	251	897	236	107	123	251	180	
	67.2	64	70.4	64.8	65.4	73.6	66.2	66.5	68.2	63.4	65	68.7	
未記入	18	7	3	2	5	1	36	7	3	6	12	8	
	1.1	1.7	1.5	0.8	1.1	0.3	2.7	2	1.9	3.1	3.1	3.1	

問27 次の病名で通院や治療をしていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問27 次の病名で通院や治療をしていますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	高血圧症	161	46	16	27	45	27	144	42	14	20	42	26
		9.5	11	7.9	10.3	9.6	7.9	10.6	11.8	8.9	10.3	10.9	9.9
	脂質異常症	121	33	15	15	35	23	102	27	12	17	31	15
		7.2	7.9	7.4	5.7	7.5	6.7	7.5	7.6	7.6	8.8	8	5.7
	糖尿病	59	22	6	10	12	9	40	10	6	10	7	7
	3.5	5.3	3	3.8	2.6	2.6	3	2.8	3.8	5.2	1.8	2.7	
全ていいえ	1,416	339	169	213	398	297	1,110	288	133	159	313	217	
	83.8	81.3	83.3	81.6	85	87.1	82	81.1	84.7	82	81.1	82.8	
未記入	21	5	7	5	3	1	18	4	3	3	5	3	
	1.2	1.2	3.4	1.9	0.6	0.3	1.3	1.1	1.9	1.5	1.3	1.1	

問28 過去1年間に内科的な健康診断を受診しましたか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問28 過去1年間に内科的な健康診断を受診しましたか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	受診した	1,237	300	136	177	358	266	1,055	271	115	153	302	214
		73.2	71.9	67	67.8	76.5	78	77.9	76.3	73.2	78.9	78.2	81.7
	受診していない	437	114	63	80	106	74	291	82	40	40	82	47
	25.9	27.3	31	30.7	22.6	21.7	21.5	23.1	25.5	20.6	21.2	17.9	
未記入	16	3	4	4	4	1	8	2	2	1	2	1	
	0.9	0.7	2	1.5	0.9	0.3	0.6	0.6	1.3	0.5	0.5	0.4	

問29 定期的に歯の検診を受けていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問29 定期的に歯の検診を受けていますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	受けている	708	170	79	101	214	142	649	160	70	84	202	133
		41.9	40.8	38.9	38.7	45.7	42.2	47.9	45.1	44.6	43.3	52.3	50.8
受けていない	969	244	121	156	252	196	695	192	86	109	180	128	
	57.3	58.5	59.6	59.8	53.8	57.5	51.3	54.1	54.8	56.2	46.6	48.9	
未記入	13	3	3	4	2	1	10	3	1	1	4	1	
	0.8	0.7	1.5	1.5	0.4	0.3	0.7	0.8	0.6	0.5	1	0.4	

問30 がん検診を受診したいですか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問30 がん検診を受診したいですか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	受診したい	1,294	323	141	184	384	262	1,085	277	122	155	313	218
		76.6	77.5	69.5	70.5	82.1	76.8	80.1	78	77.7	79.9	81.1	83.2
受診したくない	356	81	54	67	79	75	244	69	29	37	66	43	
	21.1	19.4	26.6	25.7	16.9	22	18	19.4	18.5	19.1	17.1	16.4	
未記入	40	13	8	10	5	4	25	9	6	2	7	1	
	2.4	3.1	3.9	3.8	1.1	1.2	1.8	2.5	3.8	1	1.8	0.4	

問31 過去2年間にがん検診を受診しましたか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問31 過去2年間にがん検診を受診しましたか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	受診した	772	172	83	115	233	169	675	172	65	87	214	137
		45.7	41.2	40.9	44.1	49.8	49.6	49.9	48.5	41.4	44.8	55.4	52.3
受診していない	903	242	116	142	233	170	669	180	90	106	169	124	
	53.4	58	57.1	54.4	49.8	49.9	49.4	50.7	57.3	54.6	43.8	47.3	
未記入	15	3	4	4	2	2	10	3	2	1	3	1	
	0.9	0.7	2	1.5	0.4	0.6	0.7	0.8	1.3	0.5	0.8	0.4	

問31 がん検診を受けなかった理由

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問31 がん検診を受けなかった理由	合計	903	242	116	142	233	170	669	180	90	106	169	124
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	検診があることを知らなかった	225	58	19	42	62	44	149	36	20	25	42	26
		24.9	24	16.4	29.6	26.6	25.9	22.3	20	22.2	23.6	24.9	21
	受診方法を知らなかった	332	90	33	52	92	65	198	55	26	29	54	34
		36.8	37.2	28.4	36.6	39.5	38.2	29.6	30.6	28.9	27.4	32	27.4
	病気で医師にかかっている	93	27	15	18	21	12	60	17	9	11	12	11
		10.3	11.2	12.9	12.7	9	7.1	9	9.4	10	10.4	7.1	8.9
	健康なので必要ないと思う	399	99	47	71	101	81	287	87	40	39	67	54
		44.2	40.9	40.5	50	43.3	47.6	42.9	48.3	44.4	36.8	39.6	43.5
	結果を信用していないから	32	11	4	6	7	4	18	7	1	1	6	3
		3.5	4.5	3.4	4.2	3	2.4	2.7	3.9	1.1	0.9	3.6	2.4
	時間的な余裕がないから	496	137	60	75	129	95	362	103	45	64	89	61
		54.9	56.6	51.7	52.8	55.4	55.9	54.1	57.2	50	60.4	52.7	49.2
	面倒だから	495	129	59	81	117	109	335	92	37	55	89	62
		54.8	53.3	50.9	57	50.2	64.1	50.1	51.1	41.1	51.9	52.7	50
	費用がかかるから	478	131	61	80	116	90	350	110	40	55	81	64
	52.9	54.1	52.6	56.3	49.8	52.9	52.3	61.1	44.4	51.9	47.9	51.6	
結果を知るのが怖いから	166	58	19	25	30	34	114	36	13	22	18	25	
	18.4	24	16.4	17.6	12.9	20	17	20	14.4	20.8	10.7	20.2	
職場で受けられないから	302	84	36	50	76	56	198	60	22	25	53	38	
	33.4	34.7	31	35.2	32.6	32.9	29.6	33.3	24.4	23.6	31.4	30.6	
その他	25	9	5	3	4	4	25	6	3	6	3	7	
	2.8	3.7	4.3	2.1	1.7	2.4	3.7	3.3	3.3	5.7	1.8	5.6	
全ていいえ	5	-	2	2	0	1	6	-	-	-	3	3	
	0.6	-	1.7	1.4	0	0.6	0.9	-	-	-	1.8	2.4	
未記入	17	6	2	1	3	5	28	3	8	4	6	7	
	1.9	2.5	1.7	0.7	1.3	2.9	4.2	1.7	8.9	3.8	3.6	5.6	

問32 現在地域で次のような活動をされていますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問32 現在地域で次のような活動をされていますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	地縁的な活動	368	96	51	54	95	72	304	72	50	49	87	46
		21.8	23	25.1	20.7	20.3	21.1	22.5	20.3	31.8	25.3	22.5	17.6
	スポーツ・趣味・娯楽活動	317	60	33	41	104	79	236	56	27	32	81	40
		18.8	14.4	16.3	15.7	22.2	23.2	17.4	15.8	17.2	16.5	21	15.3
	ボランティア・NPO・住民活動	137	41	19	20	31	26	108	31	16	16	29	16
	8.1	9.8	9.4	7.7	6.6	7.6	8	8.7	10.2	8.2	7.5	6.1	
全ていいえ	1,055	269	123	170	284	209	860	233	91	116	232	188	
	62.4	64.5	60.6	65.1	60.7	61.3	63.5	65.6	58	59.8	60.1	71.8	
未記入	26	5	9	6	4	2	9	3	2	1	2	1	
	1.5	1.2	4.4	2.3	0.9	0.6	0.7	0.8	1.3	0.5	0.5	0.4	

問33 近所で信頼して相談できる人がいますか

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問33 近所で信頼して相談できる人がいますか	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	いる	734	179	96	123	185	151	605	154	83	84	176	108
		43.4	42.9	47.3	47.1	39.5	44.3	44.7	43.4	52.9	43.3	45.6	41.2
	いない	921	232	98	131	277	183	734	197	71	109	206	151
	54.5	55.6	48.3	50.2	59.2	53.7	54.2	55.5	45.2	56.2	53.4	57.6	
未記入	35	6	9	7	6	7	15	4	3	1	4	3	
	2.1	1.4	4.4	2.7	1.3	2.1	1.1	1.1	1.9	0.5	1	1.1	

問34 ご近所の方とのつきあい程度について

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問34 ご近所の方とのつきあい程度について	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど	221	57	33	32	53	46	134	32	17	19	33	33
		13.1	13.7	16.3	12.3	11.3	13.5	9.9	9	10.8	9.8	8.5	12.6
	日常的に立ち話をする程度	549	145	68	91	133	112	437	124	57	60	125	71
		32.5	34.8	33.5	34.9	28.4	32.8	32.3	34.9	36.3	30.9	32.4	27.1
	あいさつ程度の最小限のつきあい	796	186	86	113	249	162	646	156	68	99	188	135
		47.1	44.6	42.4	43.3	53.2	47.5	47.7	43.9	43.3	51	48.7	51.5
つきあいはまったくしていない	84	21	10	12	26	15	117	34	11	14	37	21	
	5	5	4.9	4.6	5.6	4.4	8.6	9.6	7	7.2	9.6	8	
未記入	40	8	6	13	7	6	20	9	4	2	3	2	
	2.4	1.9	3	5	1.5	1.8	1.5	2.5	2.5	1	0.8	0.8	

問35 つきあっている人の数について

上段:度数 下段:%		計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)					
		合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区
問35 つきあっている人の数について	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	概ね20人以上 近所のかなり多くの人と面識	127	39	25	27	19	17	85	18	18	20	16	13
		7.5	9.4	12.3	10.3	4.1	5	6.3	5.1	11.5	10.3	4.1	5
	概ね5~19人 ある程度の人の面識	674	167	90	111	176	130	525	144	67	71	146	97
		39.9	40	44.3	42.5	37.6	38.1	38.8	40.6	42.7	36.6	37.8	37
	概ね4人以下 近所のごく少数の人とだけ面識	798	189	76	108	249	176	645	161	65	89	201	129
	47.2	45.3	37.4	41.4	53.2	51.6	47.6	45.4	41.4	45.9	52.1	49.2	
隣の人が誰かも知らない	64	16	7	7	18	16	70	23	3	10	16	18	
	3.8	3.8	3.4	2.7	3.8	4.7	5.2	6.5	1.9	5.2	4.1	6.9	
未記入	27	6	5	8	6	2	29	9	4	4	7	5	
	1.6	1.4	2.5	3.1	1.3	0.6	2.1	2.5	2.5	2.1	1.8	1.9	

問36 自分の老後についてどのような不安がありますか

上段:度数 下段:%	計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)						
	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	
問36 自 分の老後 について どのよう な不安が あります か	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	自分自身のからだ のこと	1,346	331	155	200	385	275	1,048	278	128	151	292	199
		79.6	79.4	76.4	76.6	82.3	80.6	77.4	78.3	81.5	77.8	75.6	76
	経済的ゆとりのこと	1,329	350	161	208	346	264	1,057	292	130	160	283	192
		78.6	83.9	79.3	79.7	73.9	77.4	78.1	82.3	82.8	82.5	73.3	73.3
	介護する立場になる かもしれないこと	1,107	252	139	160	315	241	902	241	109	133	256	163
		65.5	60.4	68.5	61.3	67.3	70.7	66.6	67.9	69.4	68.6	66.3	62.2
	介護される立場になる かもしれないこと	1,215	305	134	181	348	247	952	250	116	138	271	177
		71.9	73.1	66	69.3	74.4	72.4	70.3	70.4	73.9	71.1	70.2	67.6
	家族のつながりが弱 くなること	512	120	54	81	145	112	416	108	50	55	123	80
		30.3	28.8	26.6	31	31	32.8	30.7	30.4	31.8	28.4	31.9	30.5
	近所や知人・友人のつ ながりが弱くなること	563	124	65	93	162	119	447	114	58	63	122	90
		33.3	29.7	32	35.6	34.6	34.9	33	32.1	36.9	32.5	31.6	34.4
	妻または夫が病弱 になること	994	243	108	152	273	218	797	217	93	101	230	156
	58.8	58.3	53.2	58.2	58.3	63.9	58.9	61.1	59.2	52.1	59.6	59.5	
現在の住宅の構造 のこと	573	147	77	100	149	100	465	126	62	77	105	95	
	33.9	35.3	37.9	38.3	31.8	29.3	34.3	35.5	39.5	39.7	27.2	36.3	
その他	39	13	7	4	8	7	16	4	4	4	1	3	
	2.3	3.1	3.4	1.5	1.7	2.1	1.2	1.1	2.5	2.1	0.3	1.1	
全ていいえ	26	3	3	7	9	4	24	5	3	3	6	7	
	1.5	0.7	1.5	2.7	1.9	1.2	1.8	1.4	1.9	1.5	1.6	2.7	
未記入	47	8	11	9	9	10	56	15	8	5	17	11	
	2.8	1.9	5.4	3.4	1.9	2.9	4.1	4.2	5.1	2.6	4.4	4.2	

問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(ア年金・保険について)

上段:度数 下段:%	計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)						
	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	
問37 ご自 身の老後 に向けて 町役場へ 実施して ほしい催 し(ア年金 ・保険につ いて)	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	教室や勉強会	536	128	55	79	163	111	394	101	44	55	118	76
		31.7	30.7	27.1	30.3	34.8	32.6	29.1	28.5	28	28.4	30.6	29
	広報などの情報提 供のみ	904	232	121	144	233	174	678	186	83	101	176	132
		53.5	55.6	59.6	55.2	49.8	51	50.1	52.4	52.9	52.1	45.6	50.4
	必要を感じない	214	43	20	31	68	52	233	54	21	30	76	52
	12.7	10.3	9.9	11.9	14.5	15.2	17.2	15.2	13.4	15.5	19.7	19.8	
未記入	36	14	7	7	4	4	49	14	9	8	16	2	
	2.1	3.4	3.4	2.7	0.9	1.2	3.6	3.9	5.7	4.1	4.1	0.8	

問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(イ寝たきり予防のための健康管理に関すること)

上段:度数 下段:%	計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)						
	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	
問37 ご自 身の老後 に向けて 町役場へ 実施して ほしい催 し(イ寝た きり予防 のための健 康管理に 関すること)	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	教室や勉強会	545	143	54	83	152	113	335	89	36	45	102	63
		32.2	34.3	26.6	31.8	32.5	33.1	24.7	25.1	22.9	23.2	26.4	24
	広報などの情報提 供のみ	863	204	114	128	252	165	688	184	83	104	184	133
		51.1	48.9	56.2	49	53.8	48.4	50.8	51.8	52.9	53.6	47.7	50.8
	必要を感じない	244	58	28	39	59	60	283	69	29	37	84	64
	14.4	13.9	13.8	14.9	12.6	17.6	20.9	19.4	18.5	19.1	21.8	24.4	
未記入	38	12	7	11	5	3	48	13	9	8	16	2	
	2.2	2.9	3.4	4.2	1.1	0.9	3.5	3.7	5.7	4.1	4.1	0.8	

問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(ウ福祉制度や福祉サービスについて)

上段:度数 下段:%	計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)						
	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	
問37 ご自 身の老後 に向けて 町役場へ 実施して ほしい催 し(ウ福祉 制度や福 祉サービ スにつ いて)	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	教室や勉強会	548	132	64	92	147	113	372	91	49	54	112	66
		32.4	31.7	31.5	35.2	31.4	33.1	27.5	25.6	31.2	27.8	29	25.2
	広報などの情報提 供のみ	975	251	116	139	278	191	776	210	83	111	214	158
		57.7	60.2	57.1	53.3	59.4	56	57.3	59.2	52.9	57.2	55.4	60.3
	必要を感じない	132	25	17	22	36	32	162	41	18	20	46	37
	7.8	6	8.4	8.4	7.7	9.4	12	11.5	11.5	10.3	11.9	14.1	
未記入	35	9	6	8	7	5	44	13	7	9	14	1	
	2.1	2.2	3	3.1	1.5	1.5	3.2	3.7	4.5	4.6	3.6	0.4	

問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(工介助・介護方法について)

上段:度数 下段:%	計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)						
	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	
問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(工介助・介護方法について)	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	教室や勉強会	645	161	71	95	181	137	442	114	51	62	132	83
		38.2	38.6	35	36.4	38.7	40.2	32.6	32.1	32.5	32	34.2	31.7
	広報などの情報提供のみ	811	193	108	124	233	153	650	177	73	94	177	129
		48	46.3	53.2	47.5	49.8	44.9	48	49.9	46.5	48.5	45.9	49.2
必要を感じない	187	47	18	32	46	44	212	50	24	29	61	48	
	11.1	11.3	8.9	12.3	9.8	12.9	15.7	14.1	15.3	14.9	15.8	18.3	
未記入	47	16	6	10	8	7	50	14	9	9	16	2	
	2.8	3.8	3	3.8	1.7	2.1	3.7	3.9	5.7	4.6	4.1	0.8	

問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(才運動やスポーツ)

上段:度数 下段:%	計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)						
	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	
問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(才運動やスポーツ)	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	教室や勉強会	639	140	72	96	198	133	409	89	54	56	127	83
		37.8	33.6	35.5	36.8	42.3	39	30.2	25.1	34.4	28.9	32.9	31.7
	広報などの情報提供のみ	726	194	89	105	204	134	629	186	68	94	168	113
		43	46.5	43.8	40.2	43.6	39.3	46.5	52.4	43.3	48.5	43.5	43.1
必要を感じない	283	70	34	49	61	69	271	67	27	37	77	63	
	16.7	16.8	16.7	18.8	13	20.2	20	18.9	17.2	19.1	19.9	24	
未記入	42	13	8	11	5	5	45	13	8	7	14	3	
	2.5	3.1	3.9	4.2	1.1	1.5	3.3	3.7	5.1	3.6	3.6	1.1	

問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(力疾病の予防や健康づくりに関すること)

上段:度数 下段:%	計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)						
	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	
問37 ご自身の老後に向けて町役場へ実施してほしい催し(力疾病の予防や健康づくりに関すること)	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	教室や勉強会	545	133	58	77	155	122	345	85	41	45	98	76
		32.2	31.9	28.6	29.5	33.1	35.8	25.5	23.9	26.1	23.2	25.4	29
	広報などの情報提供のみ	920	233	119	137	263	168	757	206	85	114	212	140
		54.4	55.9	58.6	52.5	56.2	49.3	55.9	58	54.1	58.8	54.9	53.4
必要を感じない	183	41	19	34	43	46	205	52	22	26	60	45	
	10.8	9.8	9.4	13	9.2	13.5	15.1	14.6	14	13.4	15.5	17.2	
未記入	42	10	7	13	7	5	47	12	9	9	16	1	
	2.5	2.4	3.4	5	1.5	1.5	3.5	3.4	5.7	4.6	4.1	0.4	

生活習慣病リスク分類

上段:度数 下段:%	計画策定時 平成27年(2015年)						中間評価時 令和元年(2019年)						
	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	合計	西校区	東校区	北校区	真美2校区	真美1校区	
生活習慣病リスク分類	合計	1,690	417	203	261	468	341	1,354	355	157	194	386	262
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	問題なし群	949	218	118	134	266	213	744	198	78	102	211	155
		56.2	52.3	58.1	51.3	56.8	62.5	54.9	55.8	49.7	52.6	54.7	59.2
	リスク群	135	39	20	23	26	27	130	34	21	19	37	19
		8	9.4	9.9	8.8	5.6	7.9	9.6	9.6	13.4	9.8	9.6	7.3
生活習慣病群	542	146	58	90	158	90	431	113	49	67	127	75	
	32.1	35	28.6	34.5	33.8	26.4	31.8	31.8	31.2	34.5	32.9	28.6	
未記入	64	14	7	14	18	11	49	10	9	6	11	13	
	3.8	3.4	3.4	5.4	3.8	3.2	3.6	2.8	5.7	3.1	2.8	5	

第2次広陵町健康増進計画
平成28(2016)年度～令和7(2025)年度
中間評価報告

広陵町福祉部けんこう推進課(保健センター)
TEL:0745-55-6887/FAX:0745-54-5324
E-mail:info@town.koryo.nara.jp